

## 大和農業酵素 使用事例集

### 大和肥料株式会社

〒661-0967 兵庫県尼崎市浜 1-2-30

TEL06-6499-6826 FAX06-6499-6829

- |   |                  |
|---|------------------|
| ●大和農業酵素概要 p.2   |                  |
| ●水稲 p.3~p.8 No.1~No.10<br>こしひかり、鴨米、ミルククーイン、イセヒカリ、祭晴                                 | 水稲へのアドバイス p.8    |
| ●葉物 p.8~p.12 No.11~No.19<br>ほうれん草、小松菜、葱、深ねぎ、ニラ、セリ、ルバーブ                              | 葉物へのアドバイス p.12   |
| ●結球野菜 p.13~p.16 No.20~No.26<br>レタス・白菜・キャベツ・玉ねぎ                                      | 結球野菜へのアドバイス p.16 |
| ●豆類 p.17~p.19 No.27~No.31<br>落花生・インゲン・ねぶた豆・大豆                                       | 豆類へのアドバイス p.19   |
| ●根菜 p.19~p.22 No.32~No.36<br>人参・生姜・えび芋・里芋・里芋  | 根菜へのアドバイス p.22   |
| ●果菜類 p.22~p.33 No.37~No.58<br>トマト・ミニトマト・茄子・ナス・きゅうり・クラウンメロン(マスクメロン)・南瓜・白瓜・スイカ・いちご    | 果菜類へのアドバイス p.33  |
| ●花栽培 p.34~p.37 No.59~No.64<br>雪割草・デルフィニウム・スナップ・バラ・カーネーション・ストック                      | 花栽培へのアドバイス p.37  |
| ●柑橘栽培 p.37~p.41 No.65~No.73<br>極早生・ハウスデコポン・デコポン・温州みかん・ポンカン・キウイフルーツ                  | 柑橘栽培へのアドバイス p.41 |
| ●落葉果樹 p.42~p.49 No.74~No.88<br>プラム・梅・富有柿・次郎柿・栗・梨(幸水・豊水)・いちじく・りんご・サクランボ(佐藤錦)         | 落葉果樹へのアドバイス p.49 |
| ●お茶栽培 p.49~p.55 No.89~No.99<br>お茶(やぶきた)・お茶(てん葉)・お茶(藪北 二番茶)・お茶(煎茶)・紅茶・お茶(さやまかおり)・狭山茶 | お茶栽培へのアドバイス p.55 |
| ●その他 p.55~p.56 No.100~No.101<br>芝・椎茸(種菌 290)  | 芝栽培へのアドバイス p.56  |

# 大和農業酵素概要

- 有機栽培で安定した生産を続けるためには、作物が生き生き育つ土を作ることです。
- 微生物・小動物が活性化する土台(土)ができれば、植物の生育が変わります。
- 土の栄養分、ミネラルは可溶化され、保肥力が向上し、地温が上がり、土壌団粒化を促進し土が活性化していきます。
- 微生物、植物、動物などあらゆる生命体は酵素の働きによって活動しています。
- 現在わかっているだけで3000種類の酵素が存在しており、様々な生体反応に関与しています。
- ミネラル、補酵素は触媒として酵素の働きに関与しており、生命の活性には多種類の微量ミネラルが必要です。
- 「大和農業酵素」は好気性・嫌気性有用微生物と酵素、発酵生成物の塊です。
- 「大和農業酵素」を土壌施用、葉面散布するだけで、土壌微生物や植物は酵素活性し、良い生育を促します。

## <施用方法>

希釈倍率・・・500～1000倍希釈する。(希釈する水はカルキを含まないものが望ましい)

施用量・・・200リットル以上/10a たっぴり灌水する。

時間・・・夜間を除く終日に施用するのが好ましいが、夏日の午前中～日中の施用は避ける。

## ◆時期などの注意

\* 播種・定植の約2週間前以上に灌水 \* 定植後活着を確認してから灌水

\* 花卉や結実する作物の開花期の花びらへの直接の施用は避ける

\* ハウス栽培作物への灌水に最適(ややうすめにたっぴりと灌水する)

## ◆その他の注意

\* 液肥との混用は可能です。 \* 希釈後は2日以内に使い切る。

\* 農薬との混用は避ける。ただし、施用4～5日後の農薬は可

## ◆ミネラルエナジリキッドを混用すると効果的です。

ミネラルエナジリキッドに含まれる多くのミネラルの働きにより、大和農業酵素の微生物や酵素が活性化し、糖度アップ、成長促進、収量増加などの相乗効果が期待できます。

## <施用基本マニュアル 土壌施用6：葉面散布4>

葉菜類・・・土づくり期(1回) 栄養成長期(1～2回) 収穫1週間前(1回)

花卉類・・・土づくり期(1回) 栄養成長期(1～2回) 開花直前(1回)

根菜類・・・土づくり期(1回) 栄養成長期(1回) 生殖成長期(1～2回)

果菜類・・・土づくり期(1回) 栄養成長期(1～2回) 生殖成長期(1～2回)

お茶・・・土づくり期(1回) 一番茶収穫前(1回) 二番茶収穫前(1回) 三番茶収穫後(1回)

水稻・・・土づくり期(1回) 育苗緑化期(1回) 幼穂形成前(1回) 出穂期(1回)

果樹全般・土づくり期(1回) 開花直後または着果後期(1回) 収穫直前(2回)

柿・・・土づくり期(1回) 開花直後または着果後期(1回) 収穫直前(1回)

イチヂク・土づくり期(1回) 開花直後または着果後期(1回)

※永年作物への土づくり期への施用は3～4月が最適です。

No.1 水稲(コシヒカリ) 静岡県牧之原市在住 0様

完全無農薬にこだわり栽培を始めて2年目です。大和農業酵素を使い始めてから病害虫の被害がほとんどなくなりました。収量も昨年度は10アール当たり9俵でしたが、今年は9俵半になりました。

【使用結果の特長】

- 倒れやすいコシヒカリを栽培しましたが、背丈は伸びても倒伏しにくかったです。●穂が大きく、粒がふっくらしていました。
- 病害虫の被害がほとんどなく、無農薬で栽培できました。●大和農業酵素使用2年目ですが、昨年より土の状態が良くなりました。

【栽培地状況】

- 苗はJAで購入した。●後作にレタスを栽培していますので、肥料分が残っており、穂肥は20kgのみ使用し、元肥は使っていません。
- 土作りには土壤改良剤をP-ケイ酸-Mg-Mを4-21-6-0.2の割合で100kg使用し、アルカリ分は40%となるようにしました。

【使用状況】

10a当たり		散布日	希釈濃度	散布量	備考
土壌灌水		4/16	1000倍	400ℓ	
苗の定植前		5/20	1000倍	7ℓ	苗箱20枚
		5/26			
葉面散布	1回目	8/10	600倍	600ℓ	
	2回目	8/27	500倍	500ℓ	
収穫時期		9月9日～			

【生産者の声】

- 毎年稲刈りを手伝ってくださる方が、「今年は土が良くて穂が重い」と驚いていました。また、自分の田んぼより定植が10日以上遅いのに、先に収穫できる状態になっているのにも驚いていました。●昼は断水、夜は満水を心がけて水の調整をしました。
- 8月27日の二回目の葉面散布後から急激に熟度が進んだような気がしました。●幼穂が出来るまで葉色は薄くなるように管理した。

No.2 水稲(コシヒカリ) 静岡県袋井市在住 M様

穂が長くなり、粒が大きく、穂先まで揃っていました。甘味があっておいしいお米ができました。

【散布結果の特長】

- 無農薬で栽培することができ、年々収獲量も上がっている。●苗の根の張りがよくなり、株元が開いていて、茎が太くしっかりした。
- 穂が長くなり、粒が大きく、穂先まで揃っていた。●定植後の苗の傷みがありませんでした。●葉の色は、最後まで緑色でした。

【栽培地状況】

- 周辺は、田園地帯です。●水稲90アールの栽培をしています。

【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
種もみ処理	4/14 ~ 15	500倍	
種まき時期	4/16		
定植時期	5/11 ~ 13		
土壌散布	5/5	1000倍	20ℓ
流し込み	7/1	20倍	0.5ℓ
葉面散布 1回目	7/21	500倍	20ℓ
収穫時期	9/12 ~ 18		

【生産者の声】

- 代掻き前に大和農業酵素を使用した。●コシヒカリは稲の丈が伸びて倒伏しやすいが、大和農業酵素を使うと倒伏の心配がない。
- 肥料は、米ヌカや種カスしか入れていないので、初期の育成は良くないのですが、その後の育成が良く、周辺農家から関心を持った。
- これからも大和農業酵素の使用を続けていきます。



No.3 水稻（コシヒカリ） 栃木県塩谷郡在住 Y様

悪天候により不作であったが、検査官に粒が大きいと言われ、周辺農家と比較すると1反あたり1俵収量が多かった。

【散布結果の特長】

- 苗代の根の張りや実入りが良くなった。●他の圃場と比べ穂が長く大きく、根の張りや茎の太さに顕著な違いが見られた。
- 前年度と比較して食味が大きく向上しました。

【栽培地状況】

- 水稻5.5ヘクタールの栽培をしています。●水稻の他に大豆、麦を2.5ヘクタール栽培しています。

【使用状況】

	散布時期	希釈濃度	散布量／面積
ドブ漬け 1回目(苗代)	4月 5日	1000倍	
播種日	4月 6日		
ドブ漬け 2回目(苗代)	4月28日	1000倍	1ℓ／1枚
定植	5月 3日		
水田へ流し込み	6月20日	原液	1ℓ／10a
収穫時期	9月12日 ~ 22日		

【生産者の声】

- 米の検査時に粒が大きいと言われた。●今年は天候不良に関わらず平年並みの収量があった。
- 周辺農家と比較すると1反当たり1俵収量が多かった。●非常に良い結果がでたので来年度も大和農業酵素の使用を続けます。

No.4 水稻（コシヒカリ） 愛知県西尾市在住 W様

減農薬栽培ですので病害虫には特に注意していましたが、発生が無く、良かったです。

【散布結果の特長】

- 育苗時の根の張りが良く、定植がスムーズに行えた。●生長が他の水田より早いように感じました。
- 穂の丈が少し短く、節間の伸びが短かったように感じた。(計ってないので数値的には表せないのが残念です)
- 農薬は最低限の使用の範囲ですみました。●食味計で計測していませんが、味はとても良かったです。

【栽培地状況】

- 栽培面積は30haですが、今期は大和農業酵素を10haに使用しています。●ラジコンヘリコプターにて葉面散布をしております。

【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
モミの漬け込み	3月20日	1000倍	—
定植時期	4月26日		
土壌への流し込み	4月26日	2倍	1.5ℓ
葉面散布 1回目(苗時)	4月 1日	1000倍	—
葉面散布 2回目	6月29日	100倍	2ℓ
収穫時期	8月25日 ~ 9月5日		

※ラジコンヘリコプターによる葉面散布ですので通常の希釈倍率と異なります。

【生産者の声】

- 今期からは土壌葉面の回数及び面積を増やしていきたい。●特に収穫前の8月にも葉面散布をして食味の良いものを作りたい。
- 今後は、有機肥料にて栽培している水田にも大和農業酵素を併用していくつもりです。
- 大和農業酵素標準施用方法とは違いますが、独自の判断で使用しました。

収益・収量が約10%増加となり、食味も良く、台風の風雨でも倒れませんでした。

### 【散布結果の特長】

●穂のつき方が良かったので収量が約10%増加した。●食味が良くなりました。●根の張りが良く、台風の風雨でも倒れなかった。

### 【栽培地状況】

●83アールで栽培しています。●農薬を使わずに鴨に虫を食べさせ、有機肥料を300kg施肥して栽培しています。

### 【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量
種まき時期		4月19日		
土壌灌水	1回目	4月23日	1000倍	50ℓ/10a
	2回目	4月28日		
	3回目	4月30日		
苗ばこ		5月1日		20ℓ/126箱
葉面散布	1回目	6月24日	500倍	180ℓ/10a
	2回目	7月18、19日		
収穫時期		8月28日 ~ 9月9日		

### 【生産者の声】

- 有機農法で化学肥料は一切使用せず、合鴨農法をしている。●台風の風雨でも倒伏しなかったため、作業効率も上がりました。
- 大和農業酵素は鴨が泳いでいても安心して散布することが出来るので今後も続けて使用したい。●収量が増えたのでとても嬉しい。

日本人の主食である“おこめ”は安全な無農薬有機酵素栽培につきると思い、4年間のあいがも有機無農薬に“大和農業酵素”を追加した。節間もつまった立派でおいしいお米ができました。

### 【散布結果の特長】

●稲の節間がつまり茎も太く、根もふさふさと多く太くなり、倒れにくい立派な稲が出来た。●大変おいしい“あいがも酵素米”が獲れた。

### 【栽培地状況】

●50aの水田に葉面散布を約3週間おきに4回散布した。●花の開花の最盛期に台風(8月9日~10日に通過)の強風(風速が約15~20m位)を受け、花が傷み、実りが不良のものが出来て“くず米”となったものが1割強位出来てしまいました。

### 【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
種まき時期		4/23		
定植時期		5/18		
葉面散布	1回目	6/13	500倍	80ℓ
葉面散布	2回目	7/6	500倍	80ℓ
葉面散布	3回目	7/27	500倍	100ℓ
葉面散布	4回目	8/16	500倍	100ℓ
収穫時期		9/10 ~ 9/11		

### 【生産者の声】

- 「残念ながら収穫量は、天候状況(日照時間台風等)が悪く、10a当り7俵(420kg)で、前年より約1俵(60kg)少なめでしたが、大和農業酵素未使用の水田は前年より10a当たりの収穫量が1俵半位少ないようでしたので、悪天候の割には豊作だと思います。
- 今後は、土壌散布や作付期間中に取水口からの大和農業酵素の流し入れ等もしてみたいです。

**No.7 水稻（こしひかり）** 愛知県幡豆郡在住 T様

水田への流し込み2回とラジコンヘリコプターによる葉面散布2回で、猛暑にも関わらず食味も向上し、倒伏しにくく、収穫量は前年対比110%となりました。

**【散布結果の特長】**

- 前年対比110%の収量があったので、収益が増えました。 ●葉色がかなり良く勢いも良かったです。 ●食味が非常に良くなった。
- 今年は猛暑にも関わらず倒伏しにくかったです。

**【栽培地状況】**

- 水稻3000aのうち、300aに大和農業酵素を使用しています。 ●水稻の他に、大豆、麦を2800a栽培しています。

**【散布状況】**

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
水田への流し込み 1回目	4/18	1.5倍	1.5ℓ
水田への流し込み 2回目	6/25	1.5倍	1.5ℓ
葉面散布 1回目	6/25	200倍	2ℓ
葉面散布 2回目	7/23	200倍	2ℓ
収穫時期	8/25 ~ 9/5		

葉面散布2回はラジコンヘリコプターによる空中散布で、一般的な散布要領とは異なります

**【生産者の声】**

- 収量が上がったことにより収益もアップしてとても嬉しいです。 ●直販もしていますが、お客様より味が良いとお褒めの声を頂戴して、生産者としてとても嬉しいです。 ●今後は大和農業酵素を1500aに使用して、美味しいお米の直販を増やします。
- 水稻の他に、麦、大豆2800aにも使用していきます。

**No.8 水稻（マキタ超コシヒカリ）** 神奈川県小田原市在住 Y様

大和農業酵素使用2年目になる。農薬に頼らなくても病害虫の発生が少なく、収穫量も1反当り1俵の増収ができました。

**【散布結果の特長】**

- 育苗時の根張りが素晴らしく、田植え時の欠株が少ないです。 ●分けつが良く、太い株が生え揃いました。
- 農薬は種子消毒のみで、農薬散布なしでも病害虫の被害が無かったです。 ●穂のたれ下がりが多く、見た目でも増収が分かりました。
- 近所の専業農家が「何を使っているの？」と聞いてきたくらい、成績の良さに興味津々でした。

**【栽培地状況】**

- 足柄平野の西部に位置する日当たりの良い場所です。 ●栽培面積は1ヘクタールと小規模兼業農家です。
- 苗床はレキマットを使用しています。 ●育苗時の大和農業酵素の希釈水にはカルキを除いた水を使用しています。

**【使用状況】**

	散布日	希釈濃度	散布量
浸種	4月28日～5月1日 1000倍希釈液に浸ける		
葉面散布 1回目(苗箱)	5月23日	500倍	15ℓ/20箱
葉面散布 2回目	6月15日	500倍	100ℓ/10a
葉面散布 3回目	7月25日	500倍	100ℓ/10a
収穫時期	9月25日 ~ 10月5日		

**【生産者の声】**

- 以前は基肥とカルゲンを併用していたが、コスト高のわりには効果と出来に疑問がありました。大和農業酵素に切り替えたことで、農薬代等の資材費の削減ができローコストを実現した。 ●カルシウムを施用し相乗効果と大和農業酵素の散布回数も増す計画です。 ●基肥には、堆肥に米ぬかを混ぜた発酵肥料を使い、大和農業酵素の土壌散布で土壌中耕します。また、施肥、土壌管理に力を入れていきたいです。

No.9 水稲(イセヒカリ) 静岡県牧之原市在住 O様

穂が長く揃い、粒も大きく99%一等米でした。減農薬栽培で「安心して食べられて甘味があって美味しい！」と喜んでいただいています。

【使用結果の特長】

- 減農薬で栽培することができ、収穫量も年々増加している。●苗の根の張りが良く、水田に移植の際も活着が良く、傷みも無かった。
- 葉の色が最後まで緑色で、草丈の節間も短く、倒れる心配が無かったです。

【栽培地状況】

- 大井川の西に位置する富士山静岡空港付近の田園地帯です。●日当たりが良く、水の使用も自由な100アールの土地で栽培している。
- 二毛作でレタス等の野菜を作付しています。●周辺には茶園やみかん園が多いです。

【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量
もみ種		4/25	1000倍	塩水40ℓにつける
播種		5/1	1000倍	苗箱土に散布
苗に灌水		5/10	500倍	40ℓ / 250枚(苗箱)
葉面散布	1回目	7/30	500倍	150ℓ / 10アール
	2回目	8/22		200ℓ / 10アール
土壌灌水		12/19(予定)	1000倍	200ℓ / 10アール
収穫時期		9月中旬		

【生産者の声】

- 春先の凍霜害で被害にあいましたが、大和農業酵素を散布した場所は復活が早く驚きました。●農協指導の水田と比較するとその差が歴然としていて、「何を使っているの？」と尋ねられます。●お客様から「美味しいお米」と評判になっています。また、評判を聞きつけたり、水田の様子を見ていた見知らぬ人が「是非売って欲しい！」と尋ねて来たりすることなどもあり、驚きです。完売状態で嬉しい悲鳴です。

No.10 稲(祭晴) 神奈川県南足柄市在住 E様

特に育苗期に於ける成長は素晴らしい効果があります。緑化期から1週間で18cmまで成長した。

【散布結果の特長】

- 育苗期は緑化期から7日間で18cmまで成長し、5月15日田植えをする。●本田に定植後も順調に生育が見られた。
- 7月10日頃には、すでに経数25~30本位まで増様する。

【栽培地状況】

- 昨年は夏の天候不順による生育の障害もなく順調に生育が出来た。●育苗時に大和農業酵素500倍で葉面散布3回、土壌散布3回
- 本田に定植後から収穫まで500倍希釈で3回散布●収穫は1反(10アール)10俵でした。●南向き平坦地で野菜、果物の適地です。

【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量
緑化期~育苗期		500倍希釈で3回散布		
定植時期		5月15日		
葉面散布 1回目		6月 2日	500 倍	200 ℓ
葉面散布 2回目		7月25日	500 倍	200 ℓ
葉面散布 3回目		9月12日	500 倍	200 ℓ

【生産者の声】

- 大和農業酵素を初めて使用し、酵素の持つ偉大な力にびっくりしています。●農家の皆さんに広めたいと思っております。
- 今年も大和農業酵素の使用を続けてきます。

## 【大和肥料からの水稲へのアドバイス】

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。充分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきましょう。
- ヒューマスエネルギーやミネラルエネルギー、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。特に水稲は珪酸質の施用が品質向上、増収のカギとなります。「医王ミネラル」の施用をお勧めしています。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。
- 入水時に「大和農業酵素」を500倍で250リットル程度流し込み、雑草の発芽をうながし、植代掻きで取り除くことで雑草密度を減らしてください。微生物の土壌活性により、「農産発酵こつぶっこ」の抑草対策も成功率が高まります。

## No.11 ほうれんそう 宮城県桃生郡 I様

「大和農業酵素」500倍希釈、葉面散布1回でひとつの株から茎が35本位でてきた。下部の赤い所が3~4cm位ある。

### 【散布結果の特長】

- ほうれんそうの本来持っている甘み匂いがしっかり出ていて味が濃い。● 一般的(スーパーなどでよく見かけるもの)なほうれんそうは赤い部分が1cm位しかないが、これらは3~4cm位ある。● 根が太くてしっかりしていて、葉は大きく艶がある。
- 一つの株から茎が平均35本でていた(水だけのほうれんそうは10本位しかない)。
- 一部を収穫しないで大人の腰丈くらいまで放置しておいたものの、“みらい”部分を食べてみたが、軟らかく甘みがあり美味しかった。

### 【栽培地状況】

- 家庭菜園での栽培。● 8月末日に種まき、葉丈が10cmくらいになったところに「大和農業酵素」を散布。

### 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量
土壌散布	なし		
葉面散布 1回目	9月末日	500倍	不明
収穫時期	10月20日		

### 【生産者の声】

- 家庭菜園での栽培で、他の作物へ「大和農業酵素」を散布した残りを試しに散布したところ、このような成果が出たことに驚いた。
- 来年も「大和農業酵素」の使用を続行します。

## No.12 ほうれん草 (パレード) 静岡県袋井市在住 Y様

通常より早く収穫でき、収穫量は1~2割増収し、害虫が少なくなり、例年2回行う農薬散布が1回に減りました。

### 【散布結果の特長】

- 収穫量は1~2割増収しました。● 虫が少なくなりましたので、例年2回行う農薬散布が1回に減りました。
- 通常よりも早く収穫できるようになりました。● 葉が厚く大きいにもかかわらず、艶がよく柔らかく美味しくできました。
- 根の張りが大変良く、連作による青枯れが無くなりました。● 直販所に出した翌日でもシャキッとしています。

### 【栽培地状況】

- 50坪のハウスでほうれん草を栽培している。● 他に300坪の露地でブロッコリー、白菜、大根、ネギ等も栽培している。





【使用状況】

	散布時期	希釈濃度	散布量(10a当たり)
播種日	11月22日		
土壌灌水	11月22日	500倍	600ℓ
葉面散布	12月7日	1000倍	200ℓ
	12月14日		
	12月21日		
収穫時期	12月30日		

【生産者の声】

- 直売所のお客さんからは「Yさんの野菜は、おいしい！きれい！」と評判で、売れ残らずに全て売り切れるので大変うれしい。
- また、隣のあぐりレストランでは「Yさんの野菜しか使えない」と大好評です。
- 今後はトマト、生姜、きゅうり等の全ての野菜に大和農業酵素を使い、直売所では阿保農法のシールを付けて販売して差別化と阿保農法の野菜の認知を計りたいと思います。

No.13 小松菜（ひとみ） 神奈川県小田原市在住 K様

葉面散布5回したことにより、小松菜に含まれるビタミンCの含有量が通常栽培したものと比較して約2倍になった。  
現在、溶ける野菜が多い中、溶けずに昔のようにひからびる野菜ができました。

【散布結果の特長】

- 通常、茎に繊維が残るがそれがない。
- 葉だけではなく、茎も甘く、細根が多く、折れにくい。
- 収穫後、しおれが少なく荷造りが楽だ。
- 一般的栽培は100g中39mg(五訂日本食品標準成分表)に対して、大和農業酵素栽培は100g中75mgと倍近くのビタミンCが含まれた。

【栽培地状況】

- 露地栽培(通年栽培)
- 小松菜の他に、ナバナ、キウイフルーツ(無農薬有機栽培)、茶、葉ネギほうれんそう、大根、白菜等を栽培

【散布状況】

	散布日	希釈濃度
種まき時期	8月7日	
葉面散布 1回目	8月13日	500倍
葉面散布 2回目	8月21日	500倍
葉面散布 3回目	8月25日	500倍
葉面散布 4回目	9月1日	500倍
葉面散布 5回目	9月5日	500倍
収穫時期	9月8日 ~ 9月11日	

【生産者の声】

- スーパーマーケットにも出荷しているが評判が良い。
- 阿保農法の看板を出し顔写真いりて安心との声が出ています。
- 他作物も出荷しているがどれも評判が良い。
- すばらしい効果が出たので他の人にも勧め、自分も継続使用していきます。

No.14 葱（吉蔵） 埼玉県三郷市在住 Y様

第28回三郷市農業祭野菜品評会 においてねぎ部門 特別賞 をいただきました。

【散布結果の特長】

- 収量は前年度より10%増加し、収益も10%増加しました。
- 生育良く台風による葉枯れが少ないです。
- 太さが良好で長く、特に根は長くフサフサとしています。
- 甘くやわらかでとても美味しいです。

【栽培地状況】

- 露地とハウス栽培を合わせて120a栽培している。
- 大和農業酵素は2年前から使用
- 水稻、野菜、果樹を各種栽培している。

【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
播種後に灌水	2/12頃	1000倍	50ℓ
定植前の苗箱にドブ漬け	4/12	1000倍	60ℓ
土壌灌水	4/10	1000倍	200ℓ
葉面散布 1回目	8/15	1000倍	200ℓ
葉面散布 2回目	9/15	1000倍	200ℓ
葉面散布 3回目	10/15	1000倍	200ℓ
収穫時期	11月頃 ~ 翌年2月末日頃		

※ドブ漬け大和農業酵素希釈液を容器の中に入れ、その中にねぎの苗箱全部を浸すこと

【生産者の声】

- 7月下旬から8月頃より、葉が真っ白になってしまい心配したが、大和農業酵素をたっぷり散布した結果、グングン成長して葉も真青になり、非常に驚いた。
- 来年度も大和農業酵素の使用を続行していきます。
- 大和農業酵素で美味しい作物を作ることが出来てとても嬉しい。来年度は更に美味しい作物が出来ると思いますので今から楽しみです。
- 他の栽培作物にも使用していきたい。

No.15 深ねぎ(白羽根一本ねぎ) 神奈川県足柄上郡在住 K様

苗床で500倍希釈1回散布 根張り良く定植時は活着が良い。本畑では、土寄せ前に1000倍希釈を2回土壌散布500倍希釈を1回葉面散布したことにより株揃いが良くなり、甘みが増した。

【散布結果の特長】

- 今年度は定植後大雨に2度遭い、7月、8月の高温乾燥と非常に悪い気象条件であったが活着生育ともに順調でした。
- 株揃いがよく、欠株が少なくロスが少ない。
- 前年と比較すると、食味は軟らかく甘みがあります。

【栽培地状況】

- 高台の耕地であるが水はけが悪い火山灰土(耕作土の下が岩盤)
- 日当たり良好、風当たりは強い。
- 作付面積は3a

【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当り)
種まき時期	3月17日		
苗床散布	5月20日	500倍	30ℓ
定植時期	6月5日~21日		
土壌散布1回目	7月1日	1000倍	100ℓ
土壌散布2回目	7月12日	1000倍	100ℓ
葉面散布 1回目	7月23日	500倍	100ℓ
収穫時期	10月4日 ~ 翌年2月下旬(予定)		

【生産者の声】

- 直販所での販売が中心であるが、品質が良いため売れ行きは良好です。
- 他の野菜にも不定期であるが散布をしている。
- ニラに散布したら収穫後の葉が萎れない。

No.16 深ねぎ(石倉) 神奈川県足柄上郡在住 U様

天候にも恵まれたおかげで病気も出ず無農薬で栽培ができました。歩留まりがよく、収穫量が前年比で30%増量し、太く、甘く、柔らかいねぎが出来ました。

【散布結果の特長】

- 普通栽培は数回の農薬を使用しますが、大和農業酵素を使用したところ、天候にも恵まれたおかげで病気の心配がなく無農薬栽培ができた。
- 歩留まりがよく、収穫量は重量比で前年より30%増量しました。
- 根張りが旺盛で茎が太く、白根部分の成長も顕著です。
- 生でも噛めるほど軟らかく大変甘いねぎができました。

**【栽培地状況】**

- 足柄平野の東部に位置し、野菜栽培に適す土壌です。●他に里芋、玉ねぎ、椎茸、栗を栽培しています。
- 深ねぎ10アール栽培のうち、石倉は2アール栽培しています。
- 以前は堆肥と化学肥料を併用していましたが、大和農業酵素使用後は有機肥料にこだわり、無機質肥料は使っていません。

**【使用状況】**

		散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
種まき		3月20日		
定植		7月10日		
葉面散布	1回目	12月3日	1000倍	200ℓ
	2回目	12月25日		
	3回目	翌年 1月12日		
収穫時期		2月1日 ~ 3月1日		

**【生産者の声】**

- この種のねぎは分けつ問題はないが、他品種では樹勢が上がる関係で分けつが著しくなり、株の間隔を開ける必要がある。
- 来年は育苗から大和農業酵素を使用していきたいです。
- 土壌散布と土壌改良を心がけ、基本的には無農薬と通年栽培を目標としています。

**No.17 ニラ(スーパーグリーンベルト)**

栃木県鹿沼市在住 N様

日持ちが良く、幅広・肉厚で美味しく、最上級規格のLAが多く収穫できました。

**【散布結果の特長】**

- 葉色が濃く、幅が広く、肉厚なニラができました。●日持ちが良くなり、味が最高です。●農薬の散布回数が激減しました。
- 通常3~4回の収穫後は数ヶ月畑を休ませ再開するが、大和農業酵素を使うことにより、1月~11月まで連続して8~9回の収穫ができた。

**【栽培地状況】**

- 栽培面積は20アール●たまねぎ、ネギも栽培しています。

**【使用状況】**

		散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌灌注		9月上旬	1000倍	250ℓ
		11月中旬	1000倍	250ℓ
定植時期		6月中旬 ~ 下旬		
葉面散布	12月下旬~翌年11月上旬 月2回の散布	500倍		250ℓ
収穫時期		1月中旬 ~ 11月下旬		

**【生産者の声】**

- お客様から美味しいとのリピートがあり大変嬉しいです。●農薬の散布回数が激減して作業が楽になり助かります。
- 他の作物にも大和農業酵素を使い、大変良い効果がでているので、これからも続けて使用していきたいと思う。

**No.18 セリ**

宮城県桃生郡在住 Y様

「大和農業酵素」葉面散布1000倍希釈1回し、単価が非常に高く取引され、前年対比120~130%の収入増となる。

**【散布結果の特長】**

- 収穫までの期間が短縮された。●日持ちが非常に良い。●艶、色合いが良く、茎が太く、甘みがあり、歯ごたえのあるセリになった。

**【栽培地状況】**

- セリ栽培が中心で20アールを栽培する。●セリの他に自家製の野菜、水稻を栽培する。

## 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当り)
種まき時期	9月上旬		
定植時期	10月下旬		
土壌散布	散布なし		
葉面散布 1回目	10月上旬	1000倍	100ℓ
収穫時期	11月上旬～12月下旬		

## 【生産者の声】

- 収穫量は天候不順のため前年同様 ●収益は単価が良いため2～3割増 ●これからも大和農業酵素の使用を続行します。
- 漢方等自然農法と組み合わせにより理想的な栽培を目指します。

## No. 19 赤いルバーブ (ルバーブ)

長野県諏訪郡在住 K 様

天候不順で茎の成長が遅れたが、大和農業酵素の使用でその後の成長が驚くほど早まり、収穫開始時期を大幅に早めることができた。

## 【使用結果の特長】

- ルバーブは天候不順に強い植物ですが、移植直後の3～5月の冷害や渇水などにより、成長障害が起きてしまいました。しかし、その後の成長が驚くほど早く、分割移植初年度の収穫開始時期を大幅に早めることができました。
- 一株から発芽が多く、成長が早く増収しました。●他の農園と比較して、葉の色が良く、艶もあり、全体的にイキイキしています。

## 【栽培地状況】

- 東に八ヶ岳連峰を望む入笠山山麓にあり、午後の落日が早く、日照時間が少ないという条件がルバーブの栽培に適しています。
- 10年間、耕作放棄地だった畑を耕し、露地で3a栽培しています。●無農薬で有機栽培をしています。

## 【使用状況】 10a当たり

	日付	希釈濃度	散布量
土壌灌水	3月下旬	500倍	700ℓ
定植時期(株分)	4 / 6		
葉面散布	4 / 16	1000倍	700ℓ
	4 / 20		
	4 / 23		
	5 / 10		
収穫時期	6月中旬 ～		

## 【生産者の声】

- 天候不順に強いルバーブが成長障害になるような冷害や渇水でも、大和農業酵素を使うことで克服し、見事なルバーブができたことに驚いています。●10月頃までは収穫直後に次の芽が出て、一株あたり年2度(2本)収穫できますので、これまでの成長具合から収穫量はかなり多いと思います。●町の特産品として6年前から取り組んでいて、ヨーロッパでは「大人のジャム」として台所にある食材です。まだ広く知られていませんが、「酵素野菜食材として、食卓に置いてもらいたい」です。

## 【大和肥料からの葉物へのアドバイス】

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。十分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきましょう。
- ヒューマスエネルギーやミネラルエネルギー、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。特に葉物にはカルシウムの施用が必要です。「卵殻肥料」の施用をお勧めしています。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。

品質が良く秀品が多かったので収益が前年対比110~120%になりました。病気の発生が少なく農薬も減らすことができたので費用対効果が高くなりました。

【使用結果の特長】

- 葉が厚く、柔らかく、適度な大きさで揃った秀品が多い。●苦みが無く、甘く美味しい。●病気の発生が少なく、腐りがない。
- ミネラルエナジリキッドを使ったものは玉が適度に大きくなる。●切り口に 1000 倍希釈の大和農業酵素を塗ると赤くなりにくい。

【栽培地状況】

- お米を作った後の4反の畑と借地2反の合計6反で作っています。●4反の水田にも大和農業酵素を使い減農薬で栽培している。

【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)	備考
種まき		9/15			
土壌灌水		9月末	1000倍	250ℓ	
定植		10月上旬			
葉面散布	1回目	10月下旬	1000倍	200ℓ	小さめの茶碗位の大きさの頃
	2回目	11月中旬			小さめの丼位の大きさの頃
収穫時期		11月下旬 ~			

【生産者の声】

- 見よう見まねで「大和農業酵素」を試してみたところ、このように良い結果が出たので、今年はしっかりとミネラルエナジリキッドも使って、もっと良い結果を出したいと思っています。
- 土作りにはミネラルエナジリキッドが効果的と聞きましたので、定植前の畑への土壌灌水も加えていきたいと思っています。
- お米も減農薬栽培で栽培しており、とても美味しくできました。ご近所からは「高くても良いから譲って欲しい！」と嬉しい状況です。
- お茶にも使ったところ、葉が厚くて柔らかく、収量が増えたので自家用の野菜などにも全て大和農業酵素を使っています。

大和農業酵素を使い始めて2年目ですが、初年度より今年の方が歩止まりが良く、病気などに強くなったように感じます。

【散布結果の特長】

- 他の野菜よりも生長が早く、根張りが凄いので玉伸びも最高です。●食感は大変軟らかく、甘味も抜群です。
- 害虫に侵され萎れた葉に大和農業酵素を散布したところ、翌日には葉が立ち直っていたのに驚きました。

【栽培地状況】

- 足柄平野の東部に位置し露地栽培で野菜に適した水もちの良い黒土です。●大和農業酵素を使用してから2年目になります。
- 白菜は 1.5aに栽培していて、他の作物も合わせて 20aです。
- 他の野菜では、さつま芋・里芋・玉葱・深ねぎ他多種を栽培していますが、面積が小さいので多くは採れません。

【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
種まき時期		H15 8/27		
定植時期		9/12		
土壌散布		8/30	1000倍	100ℓ
葉面散布1回目		9/20	500倍	50ℓ
葉面散布2回目		10/10	500倍	50ℓ
葉面散布3回目		10/31	500倍	50ℓ
収穫時期		12/15~1/15		

【生産者の声】

- 例年は市場に出荷していたが、「酵素の旗」を立てて、無人直売を始めたところ、消費者からの評判が非常に良く、遠くからも買いに来てくれるようになったので大変嬉しいです。
- 大和農業酵素で栽培すると良い作物も出来ませんが、肥料も沢山必要なため、礼肥(元肥)に気を配りたいと思います。

定植が遅れた白菜への大和農業酵素とミネラルエナジリキッドの散布で成長が追いつき、柔らかく美味しくできた。

### 【散布結果の特長】

- 外葉が枯れたようになり弱ってしまいましたが大和農業酵素の散布後には内側の葉が元気よく大きく成長しました。
- 根の張りがよく、前年の倍位に伸びていました。●中心部の黄色の色がとても良く、漬けると特に鮮やかになりました。
- 食味はとても柔らかで生食でも甘さを感じました。



### 【栽培地状況】

- 稲刈後の水田を使って白菜7アールを栽培しています。●今年から大和農業酵素とミネラルエナジリキッドを使用しています。
- 露地栽培の他の野菜には、昨年から大和農業酵素を使用して好結果を出しています。

### 【使用状況】

	散布時期	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
播種日	9月12日～13日		
定植日	10月10日		
土壌灌水	10月13日	2000倍	1500ℓ
	10月20日		
葉面散布	10月27日	500倍	100ℓ
	11月22日	1000倍	120ℓ
	12月11日		
収穫時期	12月16日～		

### 【生産者の声】

- 雨で稲刈が遅れ、苗の定植が予定より10日程遅れ大苗になってしまった。苗が弱ってしまい、一度は収穫をあきらめかけましたが、たっぷり大和農業酵素を灌水したおかげで、根づいてからはどんどん大きくなっていき、収穫にこぎつけることができました。
- 他の農家は1/2個を50円で販売していますが、大和農業酵素を使うと中の色がとても良くきれいなので、阿保農法シールを貼って1/2個を150円でスーパーマーケットの産直コーナーで販売していますが、人気があり、残らず売れています。
- 大和農業酵素とミネラルエナジリキッドの素晴らしい効果が確認できましたので、来年度も続けて使用していきたいと思います。

大和農業酵素 使用5年目で農薬に頼らず栽培でき、「甘く柔らかくて美味しい！」とスーパーマーケットで大好評、1番人気の売行き。

### 【散布結果の特長】

- 天候(陽気)にも左右されますが、定植後無農薬で栽培できたのは初めてで、特に結球後に病気がほとんど発生しませんでした。
- 前期は4年目の畑で農薬を4回使用しましたが、今期は定植の際に、殺虫剤を1回だけ根本に施しました。●夏場には、蝶が飛んできて卵を産み付けませんでした。●1枚元葉が大変大きく、全体に粒ぞろいの元気なキャベツが出来ました。

### 【栽培地状況】

- 足柄平野の西部に位置し平坦な場所です。●野菜畑10aのうちキャベツは4a栽培●農業生産物は、主に足柄梨、水稻です。

### 【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量	
種まき時期	8/ 3			
定植時期	9/ 3 ~ 10			
土壌灌水	6/ 20	1000倍	1500ℓ	
葉面散布	1回目	1000倍	1000ℓ	
	2回目			10/ 5
	3回目以降	10/ 15. 25	1000倍	1500ℓ
		11/ 10. 17. 25		
	12/ 1			

**【生産者の声】**

- 30年以上同じ畑で栽培していますが、農薬を使わずに収穫できたのは初めてです。
- 今期は、大和農業酵素の葉面散布回数を多めにしました。●土壌に力がつき、無農薬で栽培出来るまでに5年かかりました。
- 発酵肥料にコメヌカを混ぜあわせ、プラスして配合肥料を施肥し土壌中耕し、その後、大和農業酵素1000倍液、500ℓを4アールにたっぷりと灌水し、土壌改良を試みました。●来期も大和農業酵素を継続し、土壌発酵に力を入れ土壌改良をしていきます。

**No. 24 キャベツ（タキイ種苗初秋）** 神奈川県平塚市在住 K様

無農薬栽培の最大の敵である虫害が減少しました。さらに収穫までの日数が例年より3日早まりました。結球内部がやわらかく仕上がりました。

**【特徴】**

- 未使用時に比べて虫害が減少し、省力化しました。●成長が早く、すみやかに結球し、内部のやわらかさが増しました。
- 明らかに葉の色が濃くなり、常に葉が立ち、例年のように夏バテで下垂することがありませんでした。

**【栽培地状況】**

- 畑は、神奈川県の中央部に位置し、黒ボク土と赤土の混合土壌です。●土壌は平塚市でトップクラスの「野菜栽培に適した土」と評価（神奈川県農業試験場調べ）をいただき、毎年、牛糞堆肥を10アール当り2t、落ち葉（広葉樹）を軽トラ10杯（1～1.5t）入れています。
- 30aの畑の内、キャベツ（初秋）を10a栽培●年間を通して長ネギ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーを栽培

**【施用状況】** 10アール当たり

	日付	希釈濃度	施用量
種まき時期	7/24		
土壌灌水	8/1	1000倍	200ℓ
定植時期	8/25～26		
作物への散布	8/26	1000倍	200ℓ
	9/9		
	9/24		
	10/8	500倍	100ℓ
収穫時期	10/14～11月中		

**【生産者の声】**

- お客様から「柔らかくおいしい」という声を頂いた。●通常の栽培法と比べ葉が立ち、1株がコンパクトにまとまり、密植栽培が可能。
- 定植後の成長が早く外葉が地面を覆うのが早いため、雑草を抑える力が強い。●病気が発生した箇所があったが、あまり広がらなかった。
- 外葉は、害虫が少なくなった反面、結球した玉の中に入り込んだ虫には効果が薄かったです。
- 展着剤は必要ないと言われてはいましたが、10月8日に展着剤入りで散布した結果、結球内部に黒いシミのようなものが出来たものがあり、特にやわらかい品種には展着剤を入れないほうが良いことを確認しました。
- 10aで4400株栽培し収量は4tでした。収穫可能な株は約95%（4182株）で、約5%は虫害でした。完璧な美品は約62%（2726株）でした。
- 肥料は、元肥で牛糞堆肥2t、追肥でポカシ1t、鶏糞300kgを使用しました。
- 土壌改良が進めば、虫害がさらに減るのではないかと期待しています。



**No.25 玉ねぎ（ソニックさつき）** 神奈川県小田原市在住 K様

例年より180%増収し、1個当たりの比重が高く、食味が非常に良いです。また、連作障害による病害虫に強いと感じた。

**【散布結果の特長】**

- 苗は例年より勢いが良く、根の部分がフサフサで長い。●葉の色が濃く、大きく育ちました。●甘味を強く感じ、食味が非常に良いです。
- 発酵肥料と大和農業酵素の併用で地力が高まり、土が柔らかく病害虫に大変強くなりました。

**【栽培地状況】**

- 小田原市東部に位置した玉ねぎに適した土壌でブランド地区。●玉ねぎの他に水稻10a、ミカン早生5a、中手10a、青島25aを栽培。

**【使用状況】**

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
種まき時期	9月20日		
土壌灌水	1回目	11月上旬～下旬	

	2回目	19年 1月上旬～中旬			
葉面散布	1回目	1月28日	1000倍	35ℓ	
	2回目	2月28日			
	3回目	3月26日			
	4回目	4月20日			
収穫時期		5月上旬～6月上旬			

### 【生産者の声】

- 農薬に頼らない、安心安全な作物を作るためにこれからの土壌作りが課題です。
- 露地栽培で天候に左右されやすいが、大和農業酵素の使用で様々な困難を乗り越える事が出来、栽培が容易になりました。
- 手探り状態で使用していますが、素晴らしい効果を感じましたので、来年も続行してまいります。

## No.26 たまねぎ（早生） 神奈川県小田原市在住 D様

「大和農業酵素」500倍希釈葉面散布4回で辛味が少なく、まろやかな食感のたまねぎができました。

### 【散布結果の特長】

- 葉丈が大きく葉色も濃かった。● 小玉(S)サイズが例年よりも少なかった。● 殺虫剤、殺菌剤は例年より1～2割ほど少なくなった。
- 「大和農業酵素」を散布したことにより病気の発生がほとんどなかった。

【栽培地状況】 ● 露地栽培(黒マルチ法) ● 栽培面積は30アール。

### 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
定植時期	11月初旬～中旬 頃		
葉面散布 1回目	2/20	500倍	200 ℓ
葉面散布 2回目	3/1	500倍	200 ℓ
葉面散布 3回目	3/25	500倍	200 ℓ
葉面散布 4回目	4/17	500倍	200 ℓ
収穫時期	5/10	～	未定

### 【生産者の声】

- 「大和農業酵素」を散布したことによる効果が大きかった為、来年も使用を続行していきたい。

- たまねぎの出来がすばらしかった為、他の栽培者から「何を使ったの？」と問合せが有り、

大和農業酵素を紹介しました。

大和農業酵素の散布によるたまねぎの出来や成果の違いを認めてもらえて大変嬉しかったです。



### 【大和肥料からの結球野菜へのアドバイス】

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。十分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきましょう。
- ヒューマスエネルギーやミネラルエネルギー、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。特に結球野菜には肥大期前にカルシウムや加里肥料の施用は、結球や肥大を促進します。ミネラルエネルギーや卵殻肥料の施用をお勧めしています。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。



大和農業酵素500倍希釈、葉面散布5回実施で、葉の色つやが良く身の入りが良好で成長が早い。

## 【散布結果の特長】

- 大和農業酵素を散布しない所は成長が遅れたが、散布した所は根張りが良く、身の入りにムラが少なく、全株が順調に育った。
- 葉色が濃く、葉が大きく、花の着きが良い●収穫した豆は、色味共に非常に良い近年に無い最高の出来。

## 【栽培地状況】

- 栽培面積は5a●露地とマルチの半々の栽培。●他にサツマイモ、ジャガイモ等を栽培。●5月5日に播種、5月26日に葉面散布開始。

## 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
葉面散布 1回目	5月26日	500倍	80ℓ
葉面散布 2回目	6月 5日	500倍	80ℓ
葉面散布 3回目	6月16日	500倍	80ℓ
葉面散布 4回目	6月30日	500倍	80ℓ
葉面散布 5回目	7月26日	500倍	80ℓ
収穫時期	10月4日～10月23日		

## 【生産者の声】

- 前年比3割の増収ができた●昨年は自家用程度でしたが、今年はある程度の収益ができた●私は元々無農薬栽培に心がけてきましたが、大和農業酵素に出会い、植物や土壌が強くなり、素晴らしい甘味のある作物が出来る酵素の凄さに驚いています。
- これからも引き続きコストの安い大和農業酵素をたっぷり使用し美味しい野菜を作っていきたいと思えます。

## No.28 インゲン（五月みどり2号）

埼玉県三郷市在住 Y様

甘く柔らかく、色鮮やかで、前年対比の収量が約10%増加となりました。

## 【散布結果の特長】

- 色が鮮やかで、さやが大きく、まっすぐなものが多く、まがったのが少なかった。●前年度と比べ、収量が約10%増加となった。
- 甘く柔らかく、茹でた時の色がとても鮮やかでした。

## 【栽培地状況】

- ハウス45坪で栽培しています。●ハウスでトマトきゅうりなども栽培しています。

## 【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
定植時期	2月23日		
葉面散布	1回目	3月14日	1000倍
	2回目	3月20日	
	3回目	3月27日	
	4回目	4月 3日	
	5回目	4月10日	
	6回目	4月17日	
	7回目	4月24日	
	8回目	5月 1日	
	9回目	5月 8日	
	10回目	5月15日	
	11回目	5月22日	
	12回目	5月29日	
	13回目	6月 5日	
収穫時期	4月下旬 ～		

### 【生産者の声】

- 15年前より有機肥料を与えており、農薬は使用していませんが、大和農業酵素を使い始めて、とても手ごたえを感じています。
- 安心して使えるので、今後も大和農業酵素を使用していきたいと思います。

### No.29 豆（ねぶた豆） 青森県弘前市在住 1様

昔懐かしい濃い味がして最高。収穫後10日程経っても味が落ちず日持ちが良い。前年対比110%の収益増となった。

### 【散布結果の特長】

- 豆の色も味も濃く、日持ちが良い。 ●根張りが抜群に良い。
- 通常栽培と比較すると実入りが良く、粒が大きく豆数が4個のものが5%ほどありました。
- 品質向上と日持ちの良さで、収益増となりました。



大和酵素栽培

通常栽培

### 【栽培地状況】

- 青森県の南部に位置する弘前市の平坦なリンゴ産地で豆畑は単独10アールです。 ●無農薬栽培をしています。

### 【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
種まき時期	5月1日		
定植時期	5月6日		
土壌灌水	5月1日	1000倍	300ℓ
葉面散布	1回目	6月15日	500倍
	2回目	7月20日	
	3回目	8月1日	
収穫時期	8月上旬 ~ 9月上旬		

### 【生産者の声】

- 根張りが凄いと使用直後に感じました。●味が良いのと日持ちが良かったため、スーパー等の消費者から大好評をいただきました。
- 次年度も継続使用し、早めに取り組んでいきたいと思っています。●無農薬栽培は基本的にどの作物にも考えております。
- 枝豆の葉に虫が付いても実には入りませんでした。これは大和農業酵素の効果だったと推測しています。



### No.30 大豆（フクユタカ） 愛知県西尾市在住 W様

一等の大粒が例年より多く、収穫量が増え収益増に繋がりました。また、除草剤、殺虫剤の使用が少なく栽培しやすかった。

### 【散布結果の特長】

- 土壌灌水1ヶ月後頃より、大和農業酵素散布していない圃場に比べて、葉色が特に濃くなりました。
- 一等の大粒が例年より多く、収穫量が増えたことで収益増に繋がりました。
- 台風の影響がありましたが、他の農家の方より収穫量も収益も多かったです。●除草剤、殺虫剤の使用が少なくすみました。

### 【栽培地状況】

- 1年前より大和農業酵素を使用している。●面積は23haあり、減農薬栽培をしている。●転作にて毎年露地にて栽培しています。

### 【使用状況】 ※ラジコンヘリコプターによる葉面散布ですので通常の希釈倍率と異なります。

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
種まき時期	7月7日	1000倍	100ℓ
葉面散布 1回目	8月21日	100倍	2ℓ
葉面散布 2回目	9月11日	100倍	2ℓ
収穫時期	12月12日 ~ 14日		

### 【生産者の声】

- 今迄栽培した大豆は全てJAに納めていましたが、大和農業酵素を使用してから、この大豆を使って無添加の「テンペ」を作って販売しています。皆様に大変美味しいと好評で、生産者としてとても嬉しいです。
- 良い結果が出たので来年も引き続き大和農業酵素の使用を続行していきます。●大豆の他に水稻と小麦を栽培していますが、いずれも良い結果が出てとても嬉しいです。●大和農業酵素標準施用方法とは違いますが、独自の判断で使用しました。

色艶も食味も素晴しく、一等比率70%、二等比率20%で収穫量・品質共に栽培開始以来 最も良い出来でした。

【散布結果の特長】

- 一等比率70%、二等20%、その他10%で収穫量も過去最高でした。●色艶が最高で食味も甘く大変よい出来でした。
- 樹勢が強く、病気にも負けない。●大和農業酵素を散布しない大豆は葉色が薄く、散布した大豆は葉色が濃く、元気です。

【栽培地状況】 ●26ヘクタールの大豆を栽培しています。

【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
種まき時期	7月15日 ~ 20日		
土壌灌水	7月15日~20日	1000倍	100ℓ
葉面散布1回目(管理機)	8月10日	500倍	70ℓ
葉面散布2回目(管理機)	8月13日		
葉面散布3回目(ヘリコプター)	8月31日	100倍	1ℓ
収穫時期	11月下旬 ~ 12月10日		

【生産者の声】

- 今年度も土壌灌水、葉面散布に大和農業酵素を散布しているので今から楽しみです。
- 大豆の他に水稲にも大和農業酵素をたっぷりと使用して好結果を出すつもりです。
- 一等大豆ができたのは、土壌灌水と葉面散布の両方をした場所だけだったので、良い結果を出すには必ず土壌と葉面の両方をしなければならぬ事を実感しました。

【大和肥料からのまめ類栽培へのアドバイス】

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。十分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきましょう。
- ヒューマズエナジィやミネラルエナジィ、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。特に豆類にはカルシウムや加里肥料の施用が絶対です。ミネラルエナジィや卵殻肥料の施用は勿論、育苗時や生育途にも「ホタテ超高温焼成ナノパウダー」を散布をお勧めしています。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。

「大和農業酵素」500倍希釈 葉面散布5回する事により、葉の色が濃厚で香りと甘みが強く、前年対比120%の収量しました。

【散布結果の特長】

- 葉の色が濃厚で茎がしっかりして艶があり、見た目がとてもきれい。●香りと甘味が強い。●収量は前年対比120%になりました。

【栽培地状況】

- 人参 5アール 露地栽培。●今年初めて大和農業酵素を使用しました。
- 大根、ほうれん草、小松菜、かぶ、白菜、ブロッコリー、レタス、その他の旬の野菜を栽培しています。



【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当り)
葉面散布 1回目	8月26日	500倍	400ℓ
葉面散布 2回目	9月15日	500倍	400ℓ

葉面散布 3回目	10月22日	500倍	400ℓ
葉面散布 4回目	11月19日	500倍	400ℓ
葉面散布 5回目	12月10日	500倍	400ℓ
収穫時期	11/18 ~ 翌年1/30		

### 【生産者の声】

- 大和農業酵素は扱い易く、安価な為、今後はすべての作物に継続使用していきたい。●お客様からの評判も非常に良く、栽培する側としても非常に自信が持てました。●ウサギが非常に好んで食べました。(スーパーで購入したものは食べなかった)

### No.33 生姜 (大実) 神奈川県足柄上郡在住 M様

無農薬で栽培が出来、例年より平均単価は1割程高値が付き、前年比150%以上の実の増収があった。

### 【散布結果の特長】

- 土壌改良に使用した事により、植付け後の芽出しが良かった。●生育が早く、葉色が濃く、茎が太い。●肥大が良く、実が揃っていました。

### 【栽培地状況】

- 神奈川県足柄平野の東部に位置した平坦な畑です。●露地で7アール栽培しています。
- 生姜の他に県知事賞を受賞した“みかん”を100アール栽培しています。
- 露地野菜20アールは全て無農薬で栽培しています。

### 【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌灌水		3月25日	1000倍	400ℓ
葉面散布	1回目	6月5日	500倍	
	2回目	7月24日		
収穫時期		9月15日 ~ 20日		

### 【生産者の声】

- 例年より半月程早い9月20日に収穫が終わり、実入りが良く、150%増収し、大変嬉しいです。単価も1割程高値が付いた。
- 例年より葉色、つやが良いので品質向上と単価面での収益が期待できます。●来年も元肥(施肥)に注意しながら、大和農業酵素の使用を続行する予定です。

### No.34 えび芋 静岡県磐田郡在住 S様

「大和農業酵素」500倍希釈、葉面散布2回で“腐り”が一つも無く、質(偏差値の高い)が良い為、出荷数量に対しての収益が多い。

### 【散布結果の特長】

- この地区のえび芋は連作障害で収穫にかなり“腐り”が入ってしまうが、“腐り”が一つも無かった。
- M~Lサイズの調度良い大きさに収穫できた。●甘みがあり、硬さがちょうど良く、煮崩れをしないでしっかりとしている。
- 消毒を1度もしなかった。(他の栽培者は3回以上の消毒をしているみたいです)

### 【栽培地状況】

- 専業農家ではない栽培。●MLの正品として400本を出荷しました。●4月の末日に畑に植え、7月の末日に葉面散布をする。

### 【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量
土壌散布		なし		
葉面散布 1回目		7月末日	500倍	不明
葉面散布 2回目		9月初旬	500倍	不明
収穫時期		10月末日~11月末日		

### 【生産者の声】

- 取引先の方に「非常に良くできていますね」と声を掛けられた。 ●来年も「大和農業酵素」の使用を続行します。
- ご近所の方にさしあげましたら「甘くて、煮崩れしないで美味しかった」と評判になり一般の方にも販売しました。
- えび芋は栽培に非常に手間がかかるので良い物ができたことを、非常にうれしく思っています。



No.35 里芋（野一） 神奈川県南足柄市在住 E様

芽の出が早い、全体の成長が良く、株根の張りが良かった。

【散布結果の特長】 ●里芋の株根の張りが良く、草も大変成長した。

【栽培地状況】 ●根張りが素晴らしい。●毎年アブラムシ類が多く出るのが全く無かった。●収穫も早く、8月12日から出荷出来た。  
●露地物では他に見られない早出しが出来た。●味もやわらかく甘味が強く凄く人気があった。

### 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量
定植時期	3月19日		
土壌散布 1回目	4月 3日	500倍	200ℓ
土壌散布 2回目	5月13日	500倍	200ℓ
葉面散布 1回目	5月18日	500倍	100ℓ
葉面散布 2回目	6月 6日	500倍	100ℓ
葉面散布 3回目	7月 7日	500倍	100ℓ
葉面散布 4回目	8月11日	500倍	100ℓ

### 【生産者の声】

- 早くから出荷出来、おいしいと好評で、凄く人気がありました。●特に元肥に配合を施用した所は格別の出来でした。

No. 36 里芋（土垂） 静岡県藤枝市在住 M様

大和農業酵素を使い始めてから土壌が良くなり、虫がよらなくなりました。農薬を使わずに収穫でき、食味も良くなりました。

### 【使用結果の特長】

- 葉のつやが良く、茎の太さも申し分ない状態で、とても素晴らしく育ちました。●全体的に成長が早く、例年より早く管理ができました。
- 土が良くなり、虫がよらなくなった為に、農薬を使わずに済みました。●「味がよく、柔らかい」「日持ちがする」と評判が良いです。

### 【栽培地状況】

- 藤枝市北西部の中山間地に位置し、川の近くの平野です。日当たりが良好で、野菜の栽培に適した土地です。●畑の広さは27aで、里芋は1アール栽培しました。●大和農業酵素を使い始めてから6年目になり、里芋への使用は3年目になります。
- 他にも、大豆、しそ、ブロッコリー、ほうれん草等を栽培しています。

### 【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
土壌灌水	3月下旬	500倍	700ℓ
定植時期	4月上旬		
葉面散布	7/10	500倍	300ℓ
	8/20		
収穫時期	9/10 ~ 11月末		

### 【生産者の声】

- 「農薬を使わずに作りたい」との思いが実現できて大変良かった。 ●「他の畑と違う」と、周りの農家の方に言われます。
- 有機肥料で栽培しましたが、土が変わるのがわかりました。
- 秋になり昼夜の温度差が大きくなってくると葉の成長が止まる為、早めに管理出来たことが良い状態につながりました。
- 紫蘇に大和農業酵素を使用しましたが、病気が少なく、収穫量が増えました。大豆は味が良く、昨年食べた方が「早く欲しい」と待っています。

## 【大和肥料からの芋類栽培へのアドバイス】

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。十分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきましょう。
- ヒューマスエナジィやミネラルエナジィ、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。  
特に芋類にはカルシウムや加里肥料の施用が絶対です。ミネラルエナジィや卵殻肥料の施用をお勧めしています。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。

## No.37 トマト(マイロック)

神奈川県厚木市在住 K様

大和農業酵素を散布することにより収量が前年対比約120%となる見込みです。品質味しいトマトができました。

### 【散布結果の特長】

- 収穫までの期間が例年と比較すると10日前後早い。
- 茎葉が柔らかく果実の付きも良い。
- 味のバランスが良く糖度アップした。
- 健康に育っていて管理がしやすい。
- ABCランクでABが多くCランクが非常に少なくて全体的な品質が良い。

### 【栽培地状況】

- 10月より15アールに全面的に使用。
- 25アールの温室栽培。
- トマトの他にメロン15アール、水稻40アールを栽培。

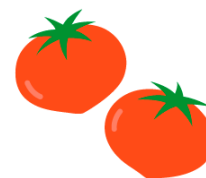
### 【散布状況】

Aの畑	散布日	稀釈濃度	散布量(10a当たり)
種まき時期	10/2		
定植時期	11/12		
ポットへの土壌散布	10/25	700倍	10ℓ
葉面散布 1回目	11/2	1000倍	20ℓ
葉面散布 2回目	11/11	1000倍	50ℓ
葉面散布 3回目	1/16	1000倍	70ℓ
収穫時期	2月～6月		

Bの畑	散布日	稀釈濃度	散布量(10a当たり)
種まき時期	11/2		
定植時期	12/22		
ポットへの土壌散布	11/21	700倍	10ℓ
葉面散布 1回目	11/27	1000倍	20ℓ
葉面散布 2回目	12/2	1000倍	50ℓ
葉面散布 3回目	1/16	1000倍	70ℓ
収穫時期	2月～6月		

### 【生産者の声】

- 来年も大和農業酵素の使用を続行します。
- 有効菌との併用で大和農業酵素の効果を高めたいと思います。
- スーパーマーケットへ納入分も毎日完売しているようでとても嬉しいです。



樹と葉に“活力”があふれています。

【散布結果の特長】

- 樹がいつまでも若々しい。●葉に力があります。●実がしまって糖度が増えた。●樹自体に活力が出たため、病気が出にくい。

【栽培地状況】 ●ハウス235坪で栽培

【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
定植時期	10月上旬		
土壌散布	9月上旬	1000倍	13000ℓ
葉面散布1回目	11月上旬	1000倍	130ℓ
葉面散布2回目	11月中旬	1000倍	130ℓ
葉面散布3回目	11月下旬	1000倍	130ℓ
収穫時期	1月上旬～7月上旬		

【生産者の声】

- 味と栄養にこだわったトマトを栽培したい。●病気になる樹が少ないので収量が増えました●定期的に土壌や葉に散布していきたい。

大和農業酵素を使用してきましたが、昨年より玉がしっかりし糖度も5.6度になり、む昨年より1.1度もアップしました。

【散布結果の特長】

- 一つ一つの玉がずっしりと重い。●昨年の糖度 4.5 度に対して今年は 5.6 度で 1.1 度も上がった。
- 甘くて酸味もしっかり残り実の締まった美味しいトマトができた。

【栽培地状況】

- 無加温ハウス100坪。●他にも季節の野菜を多数栽培しています。

【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌灌水	2月下旬	1000倍	300ℓ
定植時期	3月上旬		
葉面散布1回目	3月下旬	500倍	300ℓ
葉面散布2回目	4月下旬	500倍	300ℓ
葉面散布3回目	5月中旬	500倍	300ℓ
葉面散布4回目	6月上旬	500倍	300ℓ
収穫時期	5月中旬 ~ 7月中旬		

【生産者の声】

- 埼玉県三郷市市制30周年記念事業の第26回三郷市農業祭品評会にてカブ栽培で“全国農業協同組合連合会 埼玉県本部運営委員会賞”の受賞の実績もあり、自信を持って使っています。
- 一部無人の販売機での販売もしていますが、この中でも一番の人気商品です。
- 昨年もトマトに使用してきましたが、今年は糖度が1.1度もアップして驚いています。●来年度も大和農業酵素の使用します。

糖度が7.7～8.5度あり、甘味が強く、収穫量が約10%増加しました。

【散布結果の特長】

- 糖度が高く甘味が強いです。●色鮮やかで真っ赤なトマトができました。●ほとんど中玉のサイズに揃い、実がとても締り、日持ちが良い。

### 【栽培地状況】

- 大和農業酵素とミネラルエナジリキッドを使用しています。●45坪のハウスで有機肥料を使い栽培しています。
- トマトの他にきゅうり、インゲンなども栽培しています。

### 【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量（10aあたり）
定植時期		2月23日		
葉面散布	1回目	3月14日	1000倍	150ℓ
	2回目	3月20日		
	3回目	3月27日		
	4回目	4月3日		
	5回目	4月10日		
	6回目	4月17日		
	7回目	4月24日		
	8回目	5月1日		
	9回目	5月8日		
	10回目	5月15日		
	11回目	5月22日		
	12回目	5月29日		
	13回目	6月5日		
収穫時期		4月～9月		

### 【生産者の声】

- 例年ですと、トマトの樹そのものがすぐに枯れてしまいましたが、大和農業酵素を使用してからなかなか枯れない。
- 味も良く、お客様からの評判も良いので、今後も大和農業酵素を継続使用していきたい。

## No. 41 ミニトマト（ツインクル） 山梨県山梨市在住 S様

全てのハウスが樹勢も良く、均一的な味のトマトが出来た。糖度と酸味のバランスが良く、実も締まり、日持ちが良い。

### 【散布結果の特長】

- トマト本来のコクと味を出している。●糖度、酸味のバランスが良く、食味も大きく向上しました。●実が締まって日持ちが良い。
- 根張りが良く、樹勢が旺盛で、実にも長いうぶ毛が多く付いている。●実の割れた部分に、大和農業酵素使用、以前には発生したカビが、使用後は発生しなくなった

### 【栽培地状況】

- 今年分は8月上旬より土作りから大和農業酵素を使用しています。●ハウス55アールに作付けしています。
- 今年も桃とブドウの全てに大和農業酵素を使用していきます。

### 【使用状況】 ※全てに大和農業酵素とミネラルエナジリキッドを併用しました

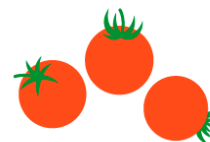
		散布日	希釈濃度	散布量（10aあたり）
土作り		8月上旬	2500倍	400ℓ
定植前の苗箱にドブ漬け		8月下旬	1000倍	
葉面散布 1回目		9月下旬	2000倍	500ℓ
葉面散布 2回目		10月下旬	2000倍	500ℓ
葉面散布 3回目		12月下旬	2000倍	500ℓ
収穫時期		10月頃～翌年8月頃		

※ドブ漬け大和農業酵素希釈液を容器の中に入れ、その中に苗箱全部を浸す

《土作りの方法》 堆肥とボカシを施肥し、水2トンに対して大和農業酵素 700mlを希釈し灌水しました。

### 【生産者の声】

- 生の活性液で、しかも使いやすいので自農場生産品には全て使用する予定でいます。
- 試験的に使用した為に、現時点ではっきりとした収穫量はわかりませんが、農業使用量は大幅に減少する見込みです。





大和農業酵素の導入後、農業を一切使わず栽培ができました。茄子の表面が輝くように綺麗で大きく柔らかいです。

収穫量は約20%増加し、単価が2~5円高くなりました。

【使用結果の特長】

- 樹勢が良いために早く成長し、剪定をしなくても収穫ができました。●収穫量が約20%増加しました。
- 大和農業酵素を使うことで単価が2~5円高くなりました。●形は大きく、表面の色が輝き、柔らかくて包丁がスムーズに入ります。
- 大和農業酵素を導入して5年目になりますが、土壌環境が変わった事で、害虫がかなり少なくなりました。

【栽培地状況】

- 神奈川県西部に位置し、一日中陽が当たります●露地専門で、人参、ネギ、里芋等、年間を通して50種類以上を作付しています

【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量
種まき時期	2 / 20		
定植時期	5 / 5		
土壌灌水	4月中旬	1000倍	300ℓ / 10a
葉面散布 1回目	4月中旬		20ℓ / 苗箱
葉面散布 2回目	5月中旬		100ℓ / 10a
葉面散布 3回目	6月中旬		150ℓ / 10a
葉面散布 4回目	7月中旬		150ℓ / 10a
収穫時期	6月上旬 ~ 10月下旬		

【生産者の声】

- 大和農業酵素の導入後、全ての農作物で農業を使わず栽培ができた。
- 堆肥、アミノ酸主原料の発酵肥料等を使って完全有機栽培を目指している。●大和農業酵素の散布は、追肥の時期を目安にしている。
- 土壌の軟らかさはまだ25~30cmですが、地温上昇を目指しバランスの取れた栽培を続けている。
- 「この茄子を食べると、他の茄子が食べられない」「子供がピーマン、人参、ゴボウを食べなかったが、こちらの野菜は食べました」とスーパーマーケットに出荷している野菜の全てでお客様に好評を頂いている。

大きさが自慢の西条ナスですが、種子もやわらかく実もしまりが有りながらやわらかいです。

【散布結果の特長】

- 根の張りが良く、病気も出ずに素晴らしい作物ができた。
- 台風の被害を4回受けたので収穫量は最低でしたが、残った作物は良い物が出来ました。

【栽培地状況】 ●栽培面積は7アールです。

【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
定植時期	4月中旬		
土壌灌水	4月上旬	1000倍	1500ℓ
葉面散布 1回目	5月中旬	500倍	700ℓ
葉面散布 2回目	7月中旬	500倍	700ℓ
収穫時期	6月中旬 ~ 10月中旬		

【生産者の声】

- 手探りの中での使用でしたので、散布量や回数がよく分からなかった。今年度の経験と実績を踏まえ、次年度はしっかりと500倍位で4~5回は散布したいです。●有機肥料を使っていますので大和農業酵素の効果がよく出たと思います。
- 今年も土作りから大和農業酵素を使用します。



価格が非常に安く、栄養分の吸収を高める効果が強いように感じました。

【散布結果の特長】

- 花が咲いてから収穫までの期間が短縮された。
- 悪天候でも耐えられる樹勢がある。
- 甘みがあって軟らかい。
- 作物が健康体に育ち作物本来の生命力が高まる。



【栽培地状況】

- ハウス栽培が中心でキュウリ20アール、トマト10アール栽培しています。
- 一部露地栽培で直販用野菜として10アール多種栽培しています。
- 大和農業酵素は対象作型キュウリ12アールに実施。

【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当り)
種まき時期		9月中旬	1000倍	播種床10ℓ
定植時期		10月下旬	1000倍	ポット20ℓ
土壌散布	1回目	11月上旬	2000倍	800ℓ
	2回目	11月中旬	1000倍	株元に300ℓ
葉面散布	1回目	10月下旬	1000倍	100ℓ
	2回目	11月上旬	1000倍	150ℓ
	3回目	11月中旬	1000倍	150ℓ
				} 10日間隔
収穫時期		12月上旬 ~ 翌年4月下旬		

【生産者の声】

- 収量は天候不順のため前年同様。
- 収益は単価が良いため2~3割増。
- これからも大和農業酵素の使用を続行していきます。
- 漢方等自然農法の組み合わせにより理想的な栽培を目指します。

前年対比の収量が約110%となり、毎年出ていた病気が出ませんでした。

【散布結果の特長】

- にがみがなく、甘味があり、色も濃くなりました。
- 長くてまっすぐなきゅうりが多く、曲がったものが少なかったです。
- 前年対比の収量が約110%となりました。
- 毎年出ていた病気が今年はお出ませんでした。

【栽培地状況】 ●ハウス45坪で栽培しています。●ハウスで、トマト、インゲンなども栽培しています。

【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
定植時期		2月23日	収穫時期 3月 ~ 8月末	
葉面散布	1回目	3月14日	1000倍	150ℓ
	2回目	3月20日		
	3回目	3月27日		
	4回目	4月 3日		
	5回目	4月10日		
	6回目	4月17日		
	7回目	4月24日		
	8回目	5月 1日		
	9回目	5月 8日		
	10回目	5月15日		
	11回目	5月22日		
	12回目	5月29日		
	13回目	6月 5日		

**【生産者の声】**

- 15年前より有機肥料を施肥し農薬は使用していません。大和農業酵素を使い始めて、とても手ごたえを感じています。
- 安心して使えるので、今後も大和農業酵素を使用していきたいと思います。

**No.46 クラウンメロン(マスクメロン) 静岡県磐田郡在住 K様**

**ミナミキイロアザミウマ (スリップス) が殆ど無い位に少なくなり糖度は15.6度で良質なメロンができました。**

**【散布結果の特長】**

- 通常より2日位早く出荷できた。●47日採果で15.6度。
- 通常組合での合格は糖度13度ですが、今回は例年より2日早く収穫して15.6度ありました。例年は、収穫を2日遅くして14度程度です。

**【栽培地状況】**《長年栽培しておりますが、このような事は初めてです》

- 通常スリップスが発生した苗は、生育が困難なため使用しないのが一般的だが、今回は大和農業酵素を散布することにより、苗の状態が回復し、このような大変良好な結果が出ました。●2回目以降は10日おきに500倍で全栽培地に散布。
- 通常農薬は1週間に1回の散布ですが、大和農業酵素を4回散布後位から虫が減り、5月20日以降収穫までの約1ヶ月間は散布なしです。

**【散布状況】** 散布面積200坪 40坪のハウス5棟

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
定植時期	3/10頃		
葉面散布 1回目	3/20	500倍	100 ℓ
葉面散布 2回目	4/29	500倍	100 ℓ
葉面散布 3回目	5/10	500倍	100 ℓ
葉面散布 4回目	5/20	500倍	100 ℓ
葉面散布 5回目	5/30	500倍	100 ℓ
葉面散布 6回目	6/10	500倍	100 ℓ
収穫時期	6/24以降		

**【生産者の声】**

- 今まで良いと言われていた資材を色々試してみたが効果がなく、大和農業酵素もおそらく効果がないだろうと思いつつ、葉面散布を行ってきたが、このように良い結果が出て大変嬉しいです。

**No.47 アールスメロン(マスクメロン) 神奈川県厚木市在住 K様**

**大和農業酵素を散布することで、例年ですと果肉は白いが、今年は黄色くきめ細かく食感のとても良い物ができた。**

**【散布結果の特長】**

- 収穫までの期間が例年と比較すると10日程早い。●開花までの発育状態がとても良く早かった。
- 植物体全体が元気良く、特に葉が大きく緑が濃い。(他のハウスと比較すると倍位の大きさです。)
- 健康に育ち管理しやすい。

**【栽培地状況】** ●温室栽培15アール全体に使用。●メロンの他にトマト、水稻にも使用。

**【散布状況】**

Aの畑	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
種まき時期	3/6		
ポット葉面散布 1回目	3/24	700倍	10 ℓ
ポット葉面散布 2回目	3/30	700倍	10 ℓ
定植時期	4/8		
葉面散布 1回目	4/10	700倍	40 ℓ
葉面散布 2回目	4/30	700倍	250 ℓ
収穫時期	6/30 ~ 7/10頃		

Bの畑	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
種まき時期	3/21		
ポット葉面散布 1回目	3/30	700倍	10 ℓ
ポット葉面散布 2回目	4/10	700倍	10 ℓ
定植時期	4/18		
葉面散布 1回目	4/30	700倍	40 ℓ
葉面散布 2回目	5/12	700倍	250 ℓ
収穫時期	7/3 ~ 7/10頃		

#### 【生産者の声】

- 有効苗との併用で大和農業酵素の効果を高めたいと思います。●来年も大和農業酵素の使用を続行します。
- これまでもネットの張りには自信があったが、今年大和農業酵素を散布した結果、優秀特品とある内、我がハウスでは特品が多く生産者としてはとても嬉しいです。

### No.48 マスクメロン(クラウンメロン) 静岡県磐田郡在住 K様

土壤散布1回と葉面散布5回で、栽培の段階での作りが楽になった。樹勢が良くなった結果か？

#### 【散布結果の特長】

- ミナミキイロアザミウマの消毒回数が1/4回くらいで済んだ。
- 栽培の段階で作りが楽になり、自分が思ったように素直に結果が出てくる。●葉は緑が濃く、木がしっかりしている。

#### 【栽培地状況】

- 温室栽培で1棟当たりの面積は50坪、ハウス全体で380坪

#### 【散布状況】 1棟(50坪)当たりの散布状況

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
種まき時期	6月28日		
定植時期	7月20日		
土壤散布	7月19日	100 倍	150 ℓ
葉面散布 1回目	8月 5日	500 倍	40 ℓ
葉面散布 2回目	8月26日	500 倍	40 ℓ
葉面散布 3回目	9月10日	500 倍	40 ℓ
葉面散布 4回目	9月30日	500 倍	40 ℓ
葉面散布 5回目	10月10日	500 倍	40 ℓ
収穫時期	11月9日 ~ 11月13日		

#### 【生産者の声】

- 土壤散布は1000倍以上と指導されていたが、他の農業資材を使った経験とメロンは水を毎日かけることもあり、濃度障害を指摘されたが私の判断で100倍で試みた。以前に1000倍でかけた時よりも良い結果が出たので、これからも100倍でかけるつもりです。
- 土壤にしっかりかけた方が良いように思います。●これからも大和農業酵素を使い続けます。
- 散布の残りを菊や自家用の野菜にかけていますが、菊にアブラムシがつかないので驚いています。野菜も大きく良いものがとれます。

### No.49 メロン (マスクメロン) 静岡県袋井市在住 K様

大和農業酵素を使った土作りにより蒸気消毒の必要がなくなり、経費と労力の節減ができました。

#### 【散布結果の特長】

- 害虫の消毒を以前は週1回行っていたが、大和農業酵素を使うようになってからは散布回数が減りました。
- 経費が少なくなった分、収益は上がりました。

**【栽培地状況】**

●6つの温室の全てで大和農業酵素による栽培をしています。●1つハウスの長さは24mです。

**【使用状況】**

	散布時期	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
播種日	2月23日		
土壤灌水	床作り時	1000 倍	50ℓ
定植	3月27日		
交配日	4月23日		
葉面散布 (10日に1回の割合)	5月 2日	500倍	10ℓ~50ℓ ※成長具合により散布量 を調整しました
	5月12日		
	5月22日		
	6月 2日		
収穫時期	6月13日		

**【生産者の声】**

- 蒸気消毒を30年以上行ってきたが、大和農業酵素を使うことによって必要なくなり、作業がとても軽減されてよかった。
- 食味や糖度などの品質は今までの状態を維持しています。●メロン農家の間では、緑のコケ様のものが出るの良い状態だと言われているが、その緑のものが植え付け後2~3日後で出てきた。蒸気消毒をしていた時は20日くらい経ってからこのような状態になりました。
- 白いカビ状のものが出ているが、大和農業酵素を使うと放線菌が出ると聞いていましたがそのようです。
- 樹の出来はやや良いと感じます。●蒸気消毒をしない栽培を続ける予定ですので、土壤灌水量等の調整が必要と思われます。

**No. 50 マスクメロン ( クラウンメロン )** 静岡県掛川市在住 K 様

等外品が少なくなり、上級品の割合が多くなったので収益が増えた。また、農薬の使用量が減り、土壤散布により栽培がしやすくなった。

**【散布結果の特長】**

- 葉肉がつかず、ふわっとした樹が出来きました。●害虫の防除が減少し、農薬の散布回数が減り、栽培が楽になった。
- 自分の思う作りに栽培が出来、結果も良好です。●糖度は計測してないので数値的には分かりませんが、食味は確実に向上した。
- 等外品が少なくなり、上級品の割合が多くなりましたので収益が増えました。

**【栽培地状況】**

●温室栽培(37坪2棟、38坪5棟、47坪2棟)等全体で358坪。大和農業酵素は全棟に使用。●有機肥料のみで栽培しています。

**【使用状況】** 対象:37坪のハウス1棟

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
種まき時期	1月31日		
定植時期	2月22日		
土壤散布	2月21日	200倍	400ℓ
葉面散布 1回目	4月19日	1000倍	300ℓ
葉面散布 2回目	4月21日	1000倍	300ℓ
収穫時期	5月10日 ~ 5月15日頃		

※標準施用方法と違いますが、独自の判断でネットの出現を誘引する為に、葉面散布間隔を短くしています

**【生産者の声】**

- 以前は葉面散布を4~5回しましたが、本年度は床作り時期に200倍液を1通り当り10ℓ散布してから、良い結果が出るようになりました。
- 一通り37坪と38坪が5通り、47坪が6通りです。●良い結果が出たので、今後も大和農業酵素の使用を続行していきます。
- 大和農業酵素標準施用方法とは違いますが、独自の判断で使用しました。



No. 51 南瓜（くりじまん） 静岡県牧之原市在住 N様

昨年から大和農業酵素を使い、今年は完全無農薬栽培ができた。味、色艶も良い一等品が多くでき、昨年より収入が増えた。

【使用結果の特長】

- 今年農薬は一切使わずに栽培できたので経費を抑えられた。
- 葉は黒過ぎず若芽のような黄緑色で付き方も程よい状態です。
- 艶があり、小さなものがほとんど無く、大き目の南瓜が多く採れた。
- ホクホクしていて甘味も強い。
- 周辺より早く収穫できました。

【栽培地状況】

- 海岸沿いの砂地で栽培
- 苗は種から自家で作りました。
- 南瓜の他にごぼう、大根、お茶、とうもろこし、西瓜などを栽培しています。

【使用状況】

10 アール当たり		散布日	希釈濃度	散布量	備考
種まき		1/20			
定植		3/20			
土壌灌水		3/25	1000倍	1500ℓ	海岸の砂地で乾燥しやすい畑で多めに散布
葉面散布	1回目	4/5	1000倍	1000ℓ	
	2回目	5/15	1000倍	1000ℓ	
収穫時期		6/5 ~			

【生産者の声】

- 毎年販売してくれるお店のご主人が「今年のは凄いいね！色も艶も良くて、大きくて、ホクホクしていて美味しい！」と太鼓判を押してくれた。
- お茶や大根やとうもろこしなど他の作物の肥料や農薬を合わせて例年は年間 180 万円程度の経費がかかっていましたが、今年は例年の 10 分の 1 程度の出費で済みました。また、高値で販売できたので費用対効果が高くなり、大和農業酵素を使っていて本当に良かったな！と実感しています。
- 来年度も作物の生育状態を考慮して程よく施肥をしていきます。

No. 52 白瓜（大白瓜） 神奈川県平塚市在住 佐藤様

栽培の途中からの大和農業酵素の使用でしたが、葉面散布 2 回の使用でも生育が良く、実色、形がとても良く、やわらかくて美味しくできました。

【散布結果の特長】

- 3日目頃から葉の色が濃く変わり始め、成長が確認出来ました。
- 2回目の葉面散布を10日目に実施し、果実の色の美しさ、濃い緑が確認できた。
- 病気の発生もなく、良い品が無農薬で栽培できた。
- 例年より1割強、増収した。
- 日持ちが非常に良いです。

【栽培地状況】

- 神奈川県平塚市の平野部で野菜を60a 露地栽培している。その内の3a で白瓜を栽培しています。
- 水稲250a の他に根菜類、葉物、メロン、瓜類、トマト、とうがらし等多種栽培しています。
- 定植後2週間目に第1回目の葉面散布を実施しました。

【使用状況】

	散布時期	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
播種日	5月 1日		
定植日	6月10日		
葉面散布	6月21日	1000倍	30ℓ
	6月30日		
収穫時期	7月10日 ~ 10月10日		

【生産者の声】

- 来年は土壌灌水を取り入れ、散布回数も増やします。
- 多品種の栽培をしていますが、味も良く、特にスイカ、メロン、トマト等はとても甘く美味しかったです。
- 来年は60アールの野菜の全てと水稲には育苗時から大和農業酵素を使用していきます。

No.53 スイカ（ラグビート玉） 神奈川県南足柄市在住 E様

定植時に配合肥料、大豆粕を施肥したスイカに大和農業酵素を散布したところ、凄い樹勢と甘さが特別でした。

【散布結果の特長】

- 樹勢がとても良い。
- すごい甘みと光沢があり、とてもおいしくできました。
- 大和農業酵素の威力に驚きました。

【栽培地状況】 ●南向きの平坦、土壌が野菜果物に適地である

【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量
定植時期	4月22日		
土壌散布	4月24日	500倍	100ℓ
葉面散布 1回目	5月13日	500倍	50ℓ
葉面散布 2回目	5月30日	500倍	50ℓ
葉面散布 3回目	6月13日	500倍	50ℓ
葉面散布 4回目	7月18日	500倍	50ℓ
収穫時期	7月18日 ~ 8月25日までの毎日		

【生産者の声】

●私は大和農業酵素、他の酵素による様々な状態を観察しましたが、特に感じたことは、同じ大和農業酵素を散布及び液肥として施用する中で配合肥料と化学肥料を施肥した場合では特に配合肥料を施肥した植物に大和農業酵素は異常な程の差がつく事がはっきりと分かりました。この要因としては、微生物と酵素の施用による、優れた活性活動によるものであると推測しています。

No.54 いちご(章姫) 静岡県田方郡在住 T様

【散布結果の特長】

●草勢が大和農業酵素散布したことにより旺盛であった。●草丈が慣行栽培より大きかった。



【栽培概要】●ハウスでの栽培です。●栽培面積は270㎡です。

定植時期	09 /08
ビニール被覆	09 /18
収穫時期	11/04 ~ 翌年6/05

【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌散布	9/1	1000倍	500ℓ
葉面散布 1回目	10/4	500倍	400ℓ
葉面散布 2回目	10/21	1000倍	400ℓ
葉面散布 3回目	12/2	1000倍	400ℓ
葉面散布 4回目	3/2	1000倍	400ℓ

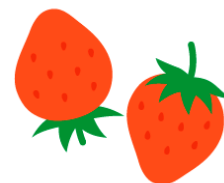
【生産者の声】

●全栽培地に大和農業酵素を使用したので慣行栽培との比較ができなくて残念です。●収量糖度等の数値的な比較ができなかった。  
●まだ大和農業酵素を使用間もないので手探りの中での栽培でしたが、今後に期待が持てる結果となりましたので、来年も「大和農業酵素」での栽培を続行していきたいです。

No. 55 いちご(愛ベリー) 静岡県田方郡在住 T様

【散布結果の特長】

●草勢が大和農業酵素散布したことにより旺盛であった。●草丈が慣行栽培より大きかった。  
●果肉がとても軟らかい。●果肉の空洞果芯の硬さは慣行栽培より少ない。



【栽培概要】●ハウスでの栽培です。●栽培面積は270㎡です。

定植時期	9 / 30
ビニール被覆	10 / 21
収穫時期	12/14 ~ 翌年05/28

【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌散布	9/28	1000倍	500ℓ
葉面散布 1回目	10/23	500倍	400ℓ
葉面散布 2回目	11/13	500倍	400ℓ
葉面散布 3回目	12/26	500倍	400ℓ
葉面散布 4回目	翌年3/16	1000倍	400ℓ

【生産者の声】

- 全栽培地に大和農業酵素を使用したため従来と比較ができなくて残念です。●収量糖度等の数値的な比較ができなかった。
- まだ大和農業酵素を使用間もないので手探りの中での大和農業酵素栽培でしたが、今後に期待が持てる結果となりましたので、来年は苗作りの段階から「大和農業酵素」での栽培をしていきたいです。

No. 56 いちご (とちおとめ) 愛知県西尾市在住 Y様

土壌灌水2回、チューブ灌水3回の利用で、糖度15度で非常に甘く、果肉がしっかりと日持ちの良いいちごができました。

【散布結果の特長】

- 日持ちが良い ●糖度が高い ●果肉がしっかりしている

【栽培地状況】 240坪のハウス栽培

【散布状況】

	散布日	大和農業酵素 希釈濃度	ミネラルエナジ リキッド希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌灌水 1回目	7月23日	1000倍		250ℓ
土壌灌水 2回目	8月24日	1000倍		250ℓ
チューブ灌水 1回目	10月20日	1000倍	2000倍	
チューブ灌水 2回目	11月19日	1000倍	2000倍	
チューブ灌水 3回目	12月10日	1000倍		
チューブ灌水 4回目	翌年1月15日	1000倍		
収穫時期	11月中旬 ~ 翌年4月下旬			

※チューブ灌水:水1000ℓを灌水する際に、40mm チューブで最初の3分間は水道水のみを流し、次に大和農業酵素66倍希釈液を5分間落とし込み、その後3分間水道水のみを流す。希釈濃度:水10ℓに対して150CCの大和農業酵素を希釈(66倍液)

【生産者の声】

- 品質、特に日持ちが良いので、ケーキ業者に全て買い取りされ、一般には販売するものが無くなってしまふほどの人気でした。
- 甘味が強く美味しいと評判で、生産者としてとても嬉しいです。

No. 57 いちご (さちのか) 愛媛県西条市在住 N様

土壌灌水1回と葉面散布5回の使用で例年より糖度が大幅に増し、酸・糖のバランスと果肉のしまりが良く、収量が1割程度上がった。

【散布結果の特長】

- 株の生育も良く、草勢が有り、例年より15日程収穫期日が伸びそうです。●例年ほど病気も出ませんでした。
- 他の農家は、例年の1割ほど収量が落ちているようですが、自園では1割ほど収量が上がりました。●日持ちが良くなりました。



**【栽培地状況】**

●20アールのハウスで使用しています。●イチゴの他に西条絹皮ナス、七草にも大和農業酵素を使用する予定です。

**【使用状況】** ※栽培面積20アールの内、10アールのみ到大和農業酵素を土壌灌水しました。

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
定植時期	9月15日頃		
土壌灌水	9月初旬	1000倍	たっぷりと灌水
葉面散布 1回目	12月中旬	1000倍	50ℓ
葉面散布 2回目	1月中旬	1000倍	50ℓ
葉面散布 3回目	2月中旬	1000倍	50ℓ
葉面散布 4回目	3月中旬	1000倍	50ℓ
葉面散布 5回目	4月中旬	1000倍	50ℓ
葉面散布 6回目	5月中旬	1000倍	50ℓ
収穫時期	12月末 ~ 5月末		

**【生産者の声】**

- 希釈するだけで使用出来るので作業が楽です。●J A売店や道の駅でも評判になっています
- 生きている活性液で力価が高いと感じます。その効果で作物が強くなり、病気も出にくくなり、収量も増えそうです。
- 昨年は土壌灌水をしなかったのが、あまり結果が出ませんでした。今年はしっかりしましたので、例年のない良い結果が出ました。

**No. 58 いちご (とちおとめ)** 静岡県藤枝市在住 K様

糖度が増し収量が1割ほど増加しました。

**【散布結果の特長】**

- 病気になりにくくなりました。●平均して収穫でき、休みがなくなりました。
- 糖と酸のバランスが良く、食べた時とてもジューシーです。●12月度の糖度が例年より高かったです。

**【栽培地状況】**

●ハウス栽培30アールのうち15アール到大和農業酵素を使用しました。

**【使用状況】**

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
苗灌水	1回目	1000倍	300ℓ/1回
	2回目		
	3回目		
定植時期	9月中旬		
土壌灌水	12月上旬	1000倍	4500ℓ
収穫時期	12月中旬 ~ 翌年 4月下旬		

**【生産者の声】**

- 今年のような低温続きの日が多い年でも株が休まないため、収量、糖度共に昨年より結果が良いです。
- 農薬の使用をしておりません。●液体なので使用しやすく、予想以上に良い結果が出たので、引き続き使用を継続していきます。

**【大和肥料からの果菜類栽培へのアドバイス】**

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。十分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきます。
- ヒューマスエナジィやミネラルエナジィ、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。  
特にトマトやイチゴなどの味を問われる果菜類には「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めいたしております。  
「大和農業酵素」と相まっておいしい果実が収穫できています。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。

日本雪割草協会主催第10回雪割草全国大会において 実生新花部門 金賞 を受賞しました。

【散布結果の特長】

- 2回目散布後には、目で見て確認できるほど根の成長が著しく良いです。●開花率も花色も良くなりました。
- 株全体が大きくなりました。●根が良くなったことで、病気も無かったです。

【栽培地状況】

- 190㎡のハウス栽培。●ビニールポットに中粒の鹿沼土単体に定植しています。

【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
種まき時期	4月		
定植時期	9月		
葉面散布 1回目	10月20日	2000倍	350ℓ
葉面散布 2回目	10月30日	2000倍	350ℓ
葉面散布 3回目	11月10日	2000倍	350ℓ
葉面散布 4回目	11月20日	2000倍	350ℓ
葉面散布 5回目	11月30日	2000倍	350ℓ
開花時期	2月 ~ 3月末日		

【生産者の声】

- 趣味なので販売するのが目的ではなく、交配をして新花を作るのが目的です。
- 開花が1年遅れると、目的の花を作るのに何年も遅れるので、3年で開花するのが100%になるようにします。
- 今後は大和農業酵素の4000倍希釈液700ℓにミネラルエナジリキッドを約14ml 混ぜて散布する予定です。
- 今後も年間を通じて大和農業酵素を使用し続ける予定です。

葉枚数が増えて株がしっかり出来て、花数も多くなりました。例年の殺菌剤の散布回数が4回から1回に減りました。

【散布結果の特長】

- 株の出来がたいへん良い。●花の蕾数が多く、大きくなりました。●花卉や葉の色艶が良く、厚みがありました。
- 散布効果により、節間がつまりました。

【栽培地状況】

- ハウス施設 約5000坪で草花鉢花花木等を生産していて、デルフィニウムは500坪栽培しています。

【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
定植時期	12月20日		
土壌灌水	1月25日	1500倍	6000ℓ
葉面散布 1回目	2月20日	500倍	2000ℓ
葉面散布 2回目	3月10日	500倍	2000ℓ
収穫時期	3月20日 ~ 4月末頃		

《堆肥作り》 20㎡の堆肥作りの初期に、1000~1500倍に希釈した大和農業酵素を800ℓ散布して切り返しを続けたところ、大変良い堆肥ができました。

【生産者の声】

- 今まで50種類以上の“良いと言われる資材”を試してきましたが、これほど結果が出たものは無かったです。
- 資材コストが安く、しかも、相乗的に農薬(特に殺菌剤)の使用量が減って良かった。
- 病気がほとんど出なくなったので、今後も大和農業酵素の使用を続けていきたいです。

- 少しずつ品目ごとの試験をしていましたが、全ての面で結果が良い為、ハウス露地共に全面使用しています。
- 栽培品目はツツジ科ヒノキ科バラ科ナス科キンボウゲ科他と200品目以上ですが、全てで良好の為、今後とも全てに使用します。

**No.61 スナップ（バタフライ系 金魚草）** 千葉県鴨川市在住 Y様

大和農業酵素を散布することにより、生育が旺盛で花輪が大きく、色鮮やで日持ちの良い金魚草ができました。

**【散布結果の特長】**

- 有機肥料栽培なので、花の日持ちが長くなりました。
- 茎が硬くしまっていて、葉肉が大きく厚くなりました。
- 生育が旺盛で、花輪が大きく花色が鮮明でとても綺麗にできました。
- 例年と比べて農薬の使用量が3割減少しました。

**【栽培地状況】**

- 800坪のハウス栽培を手掛け、その内の60坪に大和農業酵素を使用しています。
- スナップの他に、カーネーション、フリージャ、アイリス、水仙、ローダンセ等を栽培しています。
- 花卉の他に、そら豆、ほうれん草、スナックえんどうを栽培しています。

**【使用状況】** 大和農業酵素使用面積 60坪

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
種まき時期	8月20日		
定植時期	9月20日		
葉面散布 1回目	9月30日	500倍	100ℓ
葉面散布 2回目	10月7日	500倍	100ℓ
葉面散布 3回目	10月20日	500倍	100ℓ
葉面散布 4回目	11月20日	500倍	100ℓ
葉面散布 5回目	12月20日	500倍	100ℓ
収穫時期	翌年 1月 ~ 3月末日頃		

**【生産者の声】**

- 直売場では、他の花より豪華に見えるので早く売れるのでとても嬉しいです。
- 今年は堆肥をいれましたが、生育が更に旺盛になりました。
- 「大和農業酵素」を使う事によって、花卉はよりきれいに、野菜はより甘くなりますので引き続き「大和農業酵素」を使用します。

**No.62 バラ（パレオ）** 神奈川県厚木市在住 A様

農薬と違い、花にも人間にも害が無いので安心して使ったところ関東東海 花の展覧会で金賞を受賞しました。  
《大きな大会で、たった1席しかない金賞に輝いたことに感激しています》

**【散布結果の特長】** ●木がしっかりしてきた。

**【栽培地状況】**

- 専業のバラ農家(ガラス温室) ●養液栽培を主とする面積2000㎡ ●パレオの品種は200㎡で栽培を始めてから定植2年目

**【散布状況】**

	散布時期	希釈濃度	散布量(10a当たり)
葉面散布 1回目	芽が5~10cmの時	1000 倍	300ℓ
葉面散布 2回目	つぼみが膨らんだ時	1000 倍	300ℓ

**【生産者の声】**

- 過去にも賞をいただいたことはありますが、大きい大会では初めてで、難しい品種でもあり、受賞の知らせに長年のバラ農家として励みになりました。
- 品種が多い為、対象区を設けていなかったのが比較ができなくて残念でした。
- 500本切っても納得する10本を揃えるのはとても大変なものですが、このような中、金賞を受賞できたことは大変嬉しいです。
- これからも「大和農業酵素」の使用を続行して見事なバラを育てたいです。

「大和農業酵素」500倍希釈で葉面散布を7回することにより、生育が旺盛で花輪が大きく、色が鮮やかになった。

【散布結果の特長】

- 生育が旺盛で花輪が大きく、花の色が鮮やか。●日持ちが非常によい。●単価は市場卸価格より高く、収入の増加が見込まれる。
- カーネーションは夏の暑さに非常に弱く、例年、根張りが悪くなり7～8月には枯れてしまう事もあったが、今年は、そのようなことも無かったのでロスが少なかった。

【栽培地状況】

- 220坪のハウス栽培を30年続けている。

【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当り)
定植時期		5月20日		
葉面散布	1回目	5月30日	500倍	300ℓ
	2回目	6月10日		
	3回目	6月20日		
	4回目	6月30日		
	5回目	7月10日		
	6回目	7月30日		
	7回目	8月20日		
収穫時期		11月 ~ 翌年6月頃		

【生産者の声】

- 今年の結果が非常によかったので来年も「大和農業酵素」の使用を続行します。
- 今年初めての「大和農業酵素」の使用で手探り状態での使用でしたが、出来栄が非常に良く大変満足しています。
- あまりにも生育が良いので大輪の場合は、つぼみが大きすぎて割れる心配があります。初めてでよくわかりませんが散布する回数が多いのではないかと思います。●野菜にも使用していますが作柄が非常に良く美味しい野菜が出来ました。

「大和農業酵素」1000倍希釈で土壌散布1回、500倍希釈で葉面散布3回を実施。

前年度対比141%の収量がありました。

【散布結果の特長】

- 出荷ができない花が通年は30%程あるが、1%しか出ませんでした。
- 出荷数前年度対比 141%だった為 収益も出荷数に準じ増収しました。
- 出荷時期は通常、3箱→5箱→7箱→10箱と徐々に増えていくのですが、3箱→25箱→25箱→25箱とまとめて出荷できた。
- 「大和農業酵素」を1リットルに対して3滴混ぜ、ストックを入れておくと3週間は枯れることがなくきれいに咲いている。  
(通常の水につけておくと1週間が限界である) さらに水を取り替えると1ヶ月以上は咲いている。

【栽培地状況】

- 花栽培農家での栽培。●ハウス栽培6万本の栽培面積を所有

【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量
種まき日		8/1・10・20・30 11/5・15・25		
定植時期		8/18 ~ 翌年1/7		
土壌散布		8/2	1000倍	400ℓ

葉面散布 1回目	9/5	500倍	120ℓ
葉面散布 2回目	9/16	500倍	120ℓ
葉面散布 3回目	9/30	500倍	120ℓ
収穫時期	10/8 ~ 翌年4/22		

### 【生産者の声】

- 来年も「大和農業酵素」の使用を続行します。
- 花は出荷時期の調節が出来る為、今後は市場価格が高い時期に出荷時期を調節して増収を計りたいです。

### 【大和肥料からの花栽培へのアドバイス】

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。充分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきましょう。
- ヒューマスエネルギーやミネラルエネルギー、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。特に花栽培には「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めいたしております。「大和農業酵素」と相まってきれいな花が栽培できています。また、ストックやリンドウなどカルシウムの吸収で成果を出すものも多く、卵殻肥料や貝化石などの元肥、追肥をお勧めいたします。また、生殖成長を促すために発酵骨粉を施用をお勧めいたします。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。

No. 65 極早生(岩崎)温州みかん 神奈川県小田原市在住 S様

収穫前1ヶ月間の葉面散布4回で糖度が平均 1.3%上昇した。糖度の違い以上に食味、食感がマロヤカでコクがありました。

### 【散布結果の特長】

- 糖度=処理区12%(5本)、対照区10.7%(2本)(10月上旬収穫後3日目に比較)
- 食味、食感はマロヤカ。
- 葉色はやや淡い。

### 【栽培地状況】

- 海拔 130m 南西向きの段々畑。
- 礫質粘土層
- 除草剤は20年間使用していない。
- 本年はフィガロン2回散布。

【散布状況】 \* 気候風土により散布状況は変わりますので、あくまでも参考として下さい。

	散布日	希釈濃度	散布量
葉面散布 1回目	9/24	850倍	10ℓ
葉面散布 2回目	10/3	850倍	10ℓ
葉面散布 3回目	10/8	500倍	15ℓ
葉面散布 4回目	10/10	500倍	15ℓ
収穫日	10/15		

### 【生産者の声】

- 大和農業酵素はコスト的には大変安い。
- まだ試験を始めたばかりだが、続行したい。

No. 66 みかん (大津 ヒリュウ代木) 神奈川県足柄上郡在住 M様

大和農業酵素500倍希釈で、現在までに葉面散布4回で葉の茂り・葉の色が濃く・成長が早い。

### 【散布結果の特長】

- 大津のヒリュウ代木の幼木(3年目)の成育良好です。
- 来年から果実を収穫の予定で順調な収量が見込まれます。

### 【栽培地状況】

- 今年の5月4日から使用開始。●露地のみかん園。●栽培面積は10アール(5アールに大和農業酵素を散布)。

### 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
葉面散布 1回目	5月 4日	500倍	100ℓ
葉面散布 2回目	5月14日	500倍	100ℓ
葉面散布 3回目	6月 3日	500倍	100ℓ
葉面散布 4回目	7月 3日	500倍	100ℓ
収穫時期	～		

### 【生産者の声】

- 成木の大江みかんに集中して大和農業酵素を散布してみた結果、平均糖度は1度高く食味食感がマロヤカでコクの有るみかんが  
でき地域の人達に「おいしい」と評判でした。●次回は肥大成長への影響や降雨量と摘果との関係からも研究してみたい。

### No. 67 ハウスデコポン (不知火) 鹿児島県日置郡在住 K様

樹勢が旺盛で例年より1ヶ月早く収穫でき、糖度も1度前後上がり、とても甘く美味しいデコポンが出来ました。

### 【散布結果の特長】

- 葉の緑色が濃く、樹勢が強くなり、幹の太りが一段と大きくなりました。
- 例年は、果皮色が淡黄色でしたが、大和農業酵素を散布した今年は、紅の濃い果実色になりました。
- 玉肥大が大変良く全体に一階級大きい玉ができました。●糖度は12月上旬で13度と昨年より1度前後高くなりました。

### 【栽培地状況】

- 100aのハウスの内、50aに使用しています。●デコポンの他にハウスみかん、サワーポメロ、温州みかんを栽培しています。

### 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
土壌散布	4/14	1000倍	200ℓ
葉面散布1回目	4/15	1000倍	100ℓ
葉面散布2回目	5/10	1000倍	100ℓ
葉面散布3回目	6/11	2000倍	80ℓ
葉面散布4回目	6/20	2000倍	80ℓ
葉面散布5回目	7/18	1000倍	60ℓ
葉面散布6回目	8/14	1000倍	60ℓ
収穫時期	11/25～12/20		

### 【生産者の声】

- 本年度は途中からの使用だった為に10アールで4000kgしか収穫できなかったが、来年度は10アールで6000kgを目指したいです。
- 施肥、肥培管理は自家製堆肥との組み合わせにより、多くの有機質を施用しているが、分解が早いので、もう少し施肥量を増やしても良いように思います。●是非、来年も継続して使用することで、収量の増大と品質の向上を目指したいと思います。



主催JAあしがら農産物展示共進会にて神奈川県知事賞受賞しました。

【散布結果の特長】

- 果実の平均糖度が1度以上も上がり、甘味比のバランスが最高です。●樹勢が高まり、葉の色、果実の色つきが早く濃いです。
- 発酵肥料と大和農業酵素の併用で地力がつき、隔年結果による収量の落ち込みが少なくなりました。

【栽培地状況】

- 神奈川県東部に位置し南向きの畑です。●ミカンは10aの露地栽培、デコポン5a、雑柑(ハッサク、キヨミ等)5a栽培しています。
- 大津のヒリュウ代木の幼木6年目で大和農業酵素を使用して4年目です。

【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
葉面散布	5月20日	500倍	200ℓ
	7月10日		
	10月15日		
収穫時期	12月上旬 ~ 中旬		

※7月10日と10月15日の葉面散布の際には大和農業酵素にイオン化カルシウムの1000倍液も混入しました。

【生産者の声】

- 6年目の幼木のため皮がまだ厚目ですが、地域のミカンと比較して酸味が少なく甘味比のバランスが良く、味が濃く美味しいと評判。
- 発酵肥料の導入で大和農業酵素との相性も良く、地力が高まり、病害虫等にも強くなり、農薬の使用量を3~4割も減らせた。
- 全体的にバランスの良い味と生産が可能になりました。●次回からは土壌灌水も行っていきたいと思います。

デコポンの栽培地としては北限と言われている神奈川県で、糖度13~16度の甘味比のバランスが最高のデコポンが栽培できました。

【散布結果の特長】

- 果実の糖度が13~16度と甘味と酸味のバランスが良いです。●樹勢が良く、葉の色が濃いです。
- 玉伸びが良く、果実の着色がとても早く濃いです。●発酵肥料と大和農業酵素の併用で地力がつき、隔年結果がないです。

【栽培地状況】

- 神奈川県東部に位置し東向きの畑でミカンとの混植で5アール栽培しています。●デコポンは青色ミカンの接木、成木です。
- デコポンの他に雑柑(ハッサク清美)を5アール栽培しています。

【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
土壌灌水	5月21日	1000倍	200ℓ
葉面散布	1回目	500倍	100ℓ
	2回目		
	3回目		
	4回目		
収穫時期	2月中旬 ~ 2月下旬		

【生産者の声】

- 神奈川県はデコポンの栽培地としては北限と言われていますが、大和農業酵素の導入により可能になりました。
- 発酵肥料との併用で地力が高まり病害虫に強くなり、農薬の回数も減らすことができました。

病害虫の発生が少なく、農薬の使用量は例年の半分程度に控えることができました。また、樹勢が良く、酸味もあり、甘みにコクが増えて「くどいくらい甘い！」と喜んでいただいています。

【使用結果の特長】

- 樹勢が良くなったことで病害虫に強くなり、害虫剤は年1回の散布で済みました。●今年の様な猛暑でも枯れることなく勢いがありました。
- 以前から甘みのあるものが収穫できていましたが、大和農業酵素を使うようになってから酸味も出てきて味のバランスが良くなりました。

【栽培地状況】

- 東南に面している傾斜地のため、排水が良く陽当たりの良い黄赤土壌で柑橘園には最適です。
- 園地は草生栽培(ナギナタガヤ)です。菌根菌を生かす為、肥料は有機の粒状固形にこだわっています。

【散布状況】

		散布日	大和農業酵素 希釈濃度	散布量 (10a 当たり)	ミネラルエナジリキッド 希釈濃度
葉面散布	1回目	4 / 19	2000倍	300ℓ	2000倍
	2回目	5 / 25		350ℓ	10000倍
	3回目	6 / 28		300ℓ	2000倍
	4回目	7 / 26		400ℓ	2000倍
	5回目	9 / 17	1000倍	300ℓ	
	6回目	10 / 27		400ℓ	
	7回目	11 / 30		400ℓ	
土壌灌水		12 / 2	1000倍	1000ℓ	
収穫時期		10月中旬 ~ 1月下旬			

【生産者の声】

- 減農薬で味の良いものを作りたくて他社の資材を使っていましたが、「大和農業酵素」に出会い、お茶に使ってみてとても良い結果が出たので、みかんにも使ったところ、甘みが増し、色付きも良いので、これからは「大和農業酵素」を主体にして更なる減農薬栽培に挑戦します。
- 葉色が明るく、葉脈がしっかりしていて、吸汁昆虫の被害が減ったように思います。

「大和農業酵素」500倍希釈 葉面散布6回で果実が大きくなり結実量が前年比約150%となる。

- 近隣の栽培地では花腐が大発生したが、当園では発生がなかった。●果実の結実が前年対比150%で大幅な増収が期待できます。
- 多量の結実にも関わらず「玉のび」は良好です。●葉色が良く、葉肉も厚く生育も順調です。

【栽培地状況】 ●今年の4月15日から使用開始●路地のキウイフルーツ園●栽培面積は15アール

【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a当り)
葉面散布 1回目		4月15日	500倍	300ℓ
葉面散布 2回目		5月25日	500倍	250ℓ
葉面散布 3回目		5月30日	500倍	250ℓ
葉面散布 4回目		6月7日	500倍	250ℓ
葉面散布 5回目		6月28日	500倍	250ℓ
葉面散布 6回目		8月22日	500倍	250ℓ
収穫時期		11 / 10 ~ 11 / 20		

【生産者の声】

- 現在の結実量は例年の150%で玉の生育も順調で効果がはっきり出ています。
- 未収穫のため収穫量は不明ですが、大幅な収益増が見込まれます。
- 来年度も今年の散布実績を基に「大和農業酵素」の使用を継続していく予定です。
- 梅園にも2回葉面散布をした結果、果実の肥大が著しく大幅な増収となりました。





糖酸のバランス良く、病気に強く、実が増収したことにより前年比130%の収穫増となりました。

【散布結果の特長】

- 糖度が上がり、糖酸のバランスが大変良いです。●花芽のつき、新芽の伸びが良好です。●葉色、つや、葉肉が厚くなりました。
- 導入3年目ですが、農薬に頼らなくても良いものができるようになりました。

【栽培地状況】

- 神奈川県足柄平野の東北部に位置し、露地で12a栽培しています。●キウイフルーツの他にみかんを40a栽培しています。

【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌灌水		3月20日	1000倍	250ℓ
葉面散布	1回目	6月10日	500倍	
	2回目	7月10日		
	3回目	8月20日		
収穫時期		11月中旬～		

【生産者の声】

- 「大和農業酵素」導入3年目ですが、年々農薬の回数(7～8回)が減り、今年は殺虫剤を2回使用しただけで良い収穫ができた。
- 来年に向け、花腐れや玉伸びを良くするためには、「大和農業酵素」を更に散布し良いものを栽培したいと考えています。

大和農業酵素の希釈液を土壌と葉面に2回ずつ散布した結果、甘くて美味しいキウイフルーツになり、良く売れた。

【使用結果の特長】

- 忙しい為に摘果の時期が1ヶ月遅れましたが、玉伸びが良いです。(6月→7月)●糖度が上り、甘味比のバランスが良いです。
- 日持ちが以前より良くなりました。●葉色が濃く、肉厚になりました。●開花期の花腐れが減ることにより、着果率が高くなりました。

【栽培地状況】

- 足柄平野の中心地。山沿にあり、露地栽培で30年の老木です。●栽培面積は5アールです。
- みかん35アール、野菜全般100アールで種類多く栽培しています。●大和農業酵素の使用は2年目です。

【使用状況】

10アール当たり	散布日	希釈濃度	散布量
土壌灌水	3/25	1000倍	600ℓ
	4/30		300ℓ
葉面散布	6/27		
	10/20		
収穫時期	11月中旬～		

【生産者の声】

- 収量は、150%以上の増収が見込めます。●収益は、20%アップです。他の生産者より売れ行きが良いです。
- 柑橘類に散布したところ、味が良くなり、大口の注文が多くなりました。●発酵有機肥料と配合有機肥料を併用しています。
- 来年は、大和農業酵素の1回の使用量を増やし、大和農業酵素ボカシも使っていきたいです。●農薬の使用量を半分にしたいです。

【大和肥料からの柑橘栽培へのアドバイス】

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。充分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきましょう。
- ヒューマスエナジィやミネラルエナジィ、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。特に柑橘栽培には「おひさま凝縮粉末」を収穫2～3か月前の施用をお勧めいたしております。
- 「大和農業酵素」と相まっておいしい果実が収穫できています。また、カルシウムの吸収をしっかりとってください。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。

No.74 プラム(太陽) 神奈川県小田原市在住 T様

収穫期が7～10日ほど遅れたが、色も良く果肉がしっかりとした味の濃いプラムができました。

【散布結果の特長】

- 幼木のため実の増収の判断がつかないが、着花率は良いです。●色も味も濃いものができ、他の畑のプラムとは歴然の差があります。
- 葉の色も濃くなり葉脈がしっかりとしています。●冷蔵庫に2週間放置したままでも鮮度が落ちないくらい日持ちが良いです。

【栽培地状況】

- 小田原市の東部に位置した曽我梅林地区の一角です。●面積は15アールで梅林の中で栽培しています。
- プラムの他には梅110アール、水稲500アール、キウイフルーツ100アール、みかん50アール等を栽培しています。

【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)	備考
葉面散布	1回目	4月 1日	500倍	330ℓ	15アールに全面使用
	2回目	4月 8日			
	3回目	5月 1日			
収穫時期		8月 10日 ~ 8月 17日頃			

【生産者の声】

- 「大和農業酵素」を使用して1年目ですが、果樹等の農薬の散布回数が確実に減ることがわかりました。
- 葉の向きが天を向いて、一定方向に手を広げているように感じられました。
- 他の全ての作物にも大和農業酵素を使用しているが、来年度も効率的に使用し、全作物の品質向上を目指していきたいです。

No.75 梅 (南高白加賀) 神奈川県南足柄市在住 S様

白加賀により、JAあしがら管内 梅結果園管理共進会主催梅品評会で 金賞 を受賞しました。

【散布結果の特長】

- 収穫量が前年対比120%となりました。●果実が大きくなり玉揃いし、品質が大幅に向上しました。
- 通常農薬散布は収穫まで4～5回実施しますが、「大和農業酵素」を使用してから農薬散布が約半分に減少しました。
- 葉面散布3回位を毎年実施してきました。そのためか、低温気象に関らず他の畑よりも開花が1週間早くなり、着花率が大幅に向上しました。●葉の質が向上し、人肌のように柔らかくなりました。

【栽培地状況】

- 梅酒用の白加賀15アール、漬物用南高梅20アールを栽培しています。●梅の他にキウイ20アールを栽培しています。

【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)	備考
葉面散布	1回目	3月20日	800倍	300ℓ	白加賀15アールと南高梅 20アールの全面使用
	2回目	4月17日	800倍	250ℓ	
	3回目	5月17日	800倍	250ℓ	
収穫時期		6月 16日 ~ 7月 12日 頃			

【生産者の声】

- 直販所で、お客様から「大変品質の良い梅だ」とお褒めの言葉をいただき、「大和農業酵素」を使用して良かったと感謝しています。
- 梅の樹が健康体に育ち、来年以降も期待が持てますので、これからも大和農業酵素の使用を継続し、更に品質向上を目指します。

No.76 曽我梅 (白加賀南高) 神奈川県小田原市在住 T様

収穫期が例年より1週間～10日程伸びたが、前年対比120%実が増収しました。

【散布結果の特長】

- 天候不順(低温と乾燥)のため、玉伸びが例年より悪いが、悪いながらも他と比較して結実等、総合的に良と判断する。

- 南高の梅質が大和農業酵素を使用していない畑と比較し、赤味帯の色付きが大変良かった。●病害虫の発生が少なかった。

### 【栽培地状況】

- 小田原市の東部に位置した曾我梅林地区の一角です。●面積は110アールで足柄平野の中で最も梅の栽培に適しています。
- 梅の他には水稲500アール、キウイフルーツ100アール、みかん50アール栽培しています。

### 【使用状況】

	散布日	希釈濃度	散布量 (10a 当たり)	備考
土壌灌水	12月25日	1000倍	500ℓ	20アールに部分的使用
葉面散布1回目	4月1日	500倍	500ℓ	110アールの全面使用
葉面散布2回目	4月8日	500倍	500ℓ	20アールの部分使用
収穫時期	5月下旬 ~ 6月下旬			

### 【生産者の声】

- 当園は摘果をしない栽培をしているが、20%の実の増収となりました。実り過ぎたため大きくなれないという心配もありましたが、最終的に1週間の収穫のずれ込みで収入面での影響はなかったです。
- 来年も「大和農業酵素」の使用を続行し、実績者の意見等を尊重して更に品質向上を目指したいです。

## No.77 柿(富有柿) 神奈川県南足柄市在住 E様

大和農業酵素を散布した柿の木は、先ず樹勢が素晴らしい！玉が大きい！甘味が強い！他の果樹とは比較にならない

### 【散布結果の特長】

- 樹勢が良く葉がいつまでも落葉しないです。●玉のびが良く光沢が素晴らしいです。●落葉しないので玉の肥大が続きました。
- 大和農業酵素の威力に驚きました。

【栽培地状況】 ●南東向きの平坦地であります。

### 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量
土壌散布	6月2日	500倍	200ℓ
葉面散布1回目	6月12日	500倍	100ℓ
葉面散布2回目	8月11日	500倍	100ℓ
葉面散布3回目	9月17日	500倍	100ℓ
葉面散布4回目	10月10日	500倍	100ℓ
収穫時期	11月10日頃 ~ 12月始め頃		

### 【生産者の声】

- 私は「大和農業酵素」、他の酵素による様々な状態を観察しましたが、特に感じたことは、同じ「大和農業酵素」を施用した中で、配合肥料と化学肥料を比較すれば、配合肥料を施肥した場合は異常な程の効果がある事がはっきりと分かりました。この要因としては、微生物と酵素の施用による、優れた活性活動によるものであると推測しています。
- 他の生産者にも是非とも自信を持って使ってもらいたいと思います。



## No.78 柿(次郎柿) 静岡県袋井市在住 E様

自然落果が少なく、収穫量30%増、収益12%増。次郎柿の特長の甘味が強く、お客様からも喜びの声を頂きました。

### 【使用結果の特長】

- 果実が前年度より多く着果したこと、自然落果が少なかったため、収量が前年比で30%増加、収益は12%増加しました。
- 昨年は11月中頃に収穫が終わりでしたが、今年は11月末まで続き、収穫時期が長くなりました。
- 葉も果実も大きく、色鮮やかで、傷もなく、日持ちが良くなりました。●味には次郎柿の特長が出ていて、甘味が強いです。

**【栽培地状況】**

- 静岡県磐田市北部の里山で、日当たりの良い傾斜地にあります。●露地栽培8年目で「大和農業酵素」の使用は今年が初めてです。
- 大和農業酵素の使用面積は1.7ヘクタールです。

**【使用状況】**

10アール当たり	日付	希釈濃度	散布量
土壌灌水	2 / 16	1000倍	400ℓ
葉面散布 (葉の両面)	6 / 13	1000倍	400ℓ
	7 / 4 10		
収穫時期	11月初旬 ~		

**【生産者の声】**

- お客様から「甘くて美味しい」と喜ばれ、再注文も多かったです。●発酵有機肥料と柿酢の消毒をしました。
- 今年初めて使用したため昨年との比較がはっきり出ませんが、良い方向に向かっていると思います。来年度は今年よりも良い柿を作りたいので、引き続き大和農業酵素を使用します。
- 樹木が元気なため、病気はあまり出ませんでした。少しカイガラが付いたようです。

**No.79 栗 (出雲) 神奈川県南足柄市在住 Y様**

**栗のイガが大きく、実も通常より大きく、実は2~3個入りのものが多く大変美味しいです。**

**【散布結果の特長】**

- 甘く美味しくできました。●例年より実が大きくクズが少なかったです。●葉の色が濃く、丈夫でしっかりとしています。
- 大和農業酵素を使ったものは旨みがあり、使わないものと比較すると味の違いが歴然です。
- 以前より農薬は使用していませんでしたが、今年は特に虫食いが少なかったです。

**【栽培地状況】**

- 神奈川県の足柄市の西部に位置した山間部●50aの栗畑で栽培している。●栗の他にみかん30a、露地野菜8aを栽培している。

**【使用状況】**

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
葉面散布	1回目	5月22日	1000倍	100ℓ
	2回目	6月12日		
収穫時期		8月下旬 ~ 9月中旬		

**【生産者の声】**

- 昨年、試験的に部分散布をしたところ、明らかに味が良くなりましたので、今年は50アール全面に散布しました。
- 来年は元肥に堆肥を使い、土壌中耕もやっていきたいです。
- 来年度も大和農業酵素の使用を続行し、これからは特に土壌灌水もしっかり行っていきたいです。

**No. 80 梨 (幸水) 神奈川県厚木市 S様**

**「大和農業酵素」土壌散布1回葉面散布8回で糖度は14.0~14.5度、果実が大きくなり収量が約5~10%増加した。**

**【散布結果の特長】**

- 化学肥料を使用しない栽培なので、例年はあまり葉の色が濃くないが「大和農業酵素」を使用した今年は葉の色が非常に濃い。
- 「玉伸び」が良く、例年より一回り大きくてやわらかい。●一般的に収穫後半になると、糖度が下がる傾向にあるが比較的少ない。
- 果実が大きく、例年の110%の収量があったように思う。●糖度は14.0~14.5度位で食味は非常に良好でお客様の評判も良い。
- 収穫期の病害虫被害果が例年に比べて少ない。●殺虫剤の散布は例年より1~2割ほど少なく、殺菌剤は4割ほど少ない。

**【栽培地状況】**

- 栽培面積は35a●栽培地は水田地帯の沖積土で排水が悪い土地です。

【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当り)
土壌散布	5月下旬	1000倍	500ℓ
葉面散布 1回目	5月上旬	800~500倍	250~300ℓ
葉面散布 2回目	1回目から2週間後	800~500倍	250~300ℓ
葉面散布 3回目~8回目	それぞれ 2週間後	800~500倍	250~300ℓ
収穫時期	8/上旬 ~ 8/20頃		

【生産者の声】

- 以前から微生物資材を使っているが、「大和農業酵素」は他の微生物資材に比べ“非常に作用性が目に見えて強い”と感じます。植物が窒素を吸収する力が強まるように思われます●来年も「大和農業酵素」の使用を続行します。
- 展着剤を使用しない方が効果が出るように思われます(作用性が高いので薬害になりやすい)

No. 81 梨 (豊水) 神奈川県足柄上郡在住 S様

平均糖度が15度まで上がり、JA梨組合品評会で“金賞”受賞しました。

【散布結果の特長】

- 土壌灌水1回、葉面散布3回の使用でカメ虫が姿を消し、ダニ、黒星病等の病気がほとんど無くなり、昨年後半の農薬量が半減した。
- 毎年、生堆肥を10a 当たり2.5t使用し、8月から大和農業酵素を使用したところ、葉色、玉のびが良く、収穫後も葉落ちが遅いです。
- 通常は天気の良い日が続くと梨肌が赤くなりやすいが、大和農業酵素を使用したことにより赤くならず、日持ちが良く感じました。
- ダニの農薬使用回数が減り、4割位使用せずに残ったことに驚いています。
- カメ虫、黒星病等に強く、日焼け、落果減少等でロスが少なくなった為に前年対比130%の増収に繋がりました。



【栽培地状況】

- 足柄平野西部の35アールで栽培しています。●野菜畑の跡地でちょっと乾燥しすぎる傾向にあります。

【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌灌水	12月末日頃	1000倍	700ℓ
葉面散布1回目	8月 5日	500倍	300ℓ
葉面散布2回目	8月20日	500倍	300ℓ
葉面散布3回目	9月 5日	500倍	300ℓ
収穫時期	8月10日~9月20日頃まで		

【生産者の声】

- 昨年後半から使用していますが農薬の使用量が減ったことに変驚いています。
- 開花前に2回、結実してから5回位実施し、10日に1回位の割合で葉面散布をしています。
- 水稲は90アールを作付けしていますが、昨年後半からの実施にもかかわらず、米の味が半端でなく良くなり、今年は発芽、緑化時期から散布しているので好結果が期待できそうで、とても楽しみにしています。
- もちろん、今後も引き続き大和農業酵素の使用を続行していきます。

No. 82 梨 (にっこり) 栃木県鹿沼市在住 T様

「第4回とちぎのなし『にっこり』大賞審査会」の大賞(栃木県知事賞)を受賞しました。

【散布結果の特長】

- 葉色が濃く、葉厚みが厚くなりました。(例年は葉色が濃くない。)●新梢の徒長抑制によって、誘引の手間が多少省けました。
- 昨年の果実より表皮のつやが良くなりました。●樹勢が強くなり、玉伸びが良かったです。
- 果実の果柄が非常に太くなったことと、落果数の減少で収穫増となりました。

**【栽培地状況】**

●露地栽培で栽培面積160aの内、大和農業酵素を20aに散布。●「にっこり」の他に「幸水」「豊水」「新高」「かおり」も栽培。

**【散布状況】**

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
葉面散布1回目	8月下旬	500倍	100ℓ
葉面散布2回目	9月上旬	500倍	100ℓ
土壌散布	9月下旬	1000倍	250ℓ
収穫時期	10月下旬～11月中旬		

**【生産者の声】**

- 「第4回とちぎのなし『にっこり』大賞審査会」で大賞(栃木県知事賞)に選ばれ感謝しております。
- 大和農業酵素を使用した「にっこり梨」は、今年の台風の風雨でも大和農業酵素を使用した畑全体で1～2個程度の落果でしたが、使用しなかった他の「にっこり梨」は全畑で3割程度落果してしまいました。
- 他の品種でも同様の結果が出ました。特に「かおり」は落下しやすく、作りにくい品種ですが「にっこり梨」同様の結果が出た。

**No.83 いちじく (マスイドーフイン) 埼玉県三郷市在住 Y様**

収量の増加で収益が約10%増加となり、粒が大きいものが出来たので作業がとても楽でした。

**【散布結果の特長】**

- 粒が大きくなり、LL、Lサイズが多かったです。●病気が減りました。●例年は葉が落ちてしまう12月まで今年は落ちなかったです。
- 糖度は約14度で、とても甘味があり美味しいです。

**【栽培地状況】**

●280坪の露地で有機肥料を使い栽培しています。

**【使用状況】**

	散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
葉面散布	1回目	1000倍	250ℓ
	2回目		
	3回目		
	4回目		
	5回目		
	6回目		
	7回目		
収穫時期	8月中旬～10月下旬		

**【生産者の声】**

- いちじくの栽培をやっておりますが、例年、粒の大きさがM、Sサイズのものが多かったのですが、大和農業酵素の使用を開始した今年、LL、Lサイズのものが増え収穫できて大変嬉しいです。●大和農業酵素は安心して使えるので今後も使用していきたい。
- 結実前に予防のために2回農薬を散布しましたが、結実後は1回も農薬を使っていません。

**No. 84 りんご (つがる) 静岡県榛原郡在住 H様**

「口に入れるものは、安全なものでなければいけない」この事を常に意識して努力してきました。  
今回大和農業酵素に出会い、使う事によって、今までになくおいしくて安全なものが出てとてもうれしいです。

**【散布結果の特長】**

- 今までは8月13日頃をすぎないと色もつかないし、糖度ものってこないのが、今年は大和農業酵素を2回散布した8月5日の時点で、糖度14度で真っ赤な色のとてもおいしいりんごができました。●今までになく大きなりんごができました。

**【栽培地状況】**

●16アールの農園にスプリンクラーで葉面散布をしました。●つがるの他に「富士」「王林」も栽培しております。

### 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10aあたり)
葉面散布 1回目	5/25	1,000 倍	1,500 ℓ
葉面散布 2回目	7/2	1,000 倍	1,500 ℓ
葉面散布 3回目	8/6	500 倍	1,500 ℓ
葉面散布 4回目	8/13	500 倍	1,500 ℓ
収穫時期	8/13 ~ 未定		

### 【生産者の声】

- 皮ごと食べてもらえるように農薬を極力控えています。●大和農業酵素の2回散布で色味大きさが今までになく良い出来でびっくりです。
- 大和農業酵素の事を知ったのが、りんごの花が咲き始めた頃だったので、土壌への散布ができなく、来年は土壌散布をしっかりとやります。

## No. 85 りんご (つがるサンジョナゴールドサンフジ王林金星) 青森県弘前市在住 I様

どの品種も味が大変良く(濃く)になりました。また、りんごの実がしっかりと日持ちが最高だと思いました。

### 【散布結果の特長】

- 樹勢が良い為に、例年より約3割農薬を減らす事が出来ました。
- 樹勢が旺盛で、味が濃く、粒揃いで日持ちの良いしっかりとしたりんごができました。



### 【栽培地状況】

- 青森県の南部に位置する弘前市の平坦な産地です●栽培面積は露地園で300アール栽培
- 他の作物では水稻(秋田こまち、つがるロマン)等250アール栽培

### 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量	散布量(10a 当たり)
土壌散布	4/6	1000倍	1000ℓ	1000ℓ (つがるの畑の一部)
葉面散布1回目	5/2	500倍	5000ℓ	170ℓ
葉面散布2回目	5/15	500倍	5000ℓ	170ℓ
葉面散布3回目	5/28	500倍	7000ℓ	230ℓ
葉面散布4回目	6/24	500倍	7000ℓ	230ℓ
収穫時期	9月~11月中旬			

※つがるの品種には上記を含めて8回の葉面散布を施しました。

### 【生産者の声】

- 大和農業酵素の使用で農薬使用量の半減を試みる為、前半に農薬を一切使わず、数種類の病気の経過を観察しましたが、1年目は無理でしたので、来年度も使用して観察を続けます。
- 葉面散布をすることで樹勢が強くなる分、収穫時期のズレを心配していましたが、特に問題はありませんでした。
- 出荷先のスーパーマーケットでは、「味が濃く、日持ちが今までの物とは全然違う」と大好評で、生産者としてとても嬉しいです。
- 来年度の使用は、今年の経験を生かし、効率的なものとするために、散布時期には特に注意し、花が咲く前から取り組みます。
- りんご作りも例年限界を感じる昨今、地域のグレードアップを計る為にも1人でも多くの人に広めて、こだわりのりんごを目指します。

## No. 86 リンゴ (サンふじ) 青森県弘前市在住 K様

糖度・硬度ともに高く、今までにない味に仕上がりました。また、日持ちも良いリンゴができました。

### 【散布結果の特長】

- 葉が厚く、小さめの葉が数多くつくようになり、光合成が活発になったため、植物の生命活動がしっかりし、病害に強くなりました。
- 硬度がしっかりし、とても日持ちが良くなりました。●果実を割った時の赤変色の酸化が遅くなりました。●甘味比のバランスが最高。

《サンふじ 硬度糖度測定結果》 (JA つがる弘前営農指導員測定による)

	通常栽培	大和農業酵素 栽培	
硬度	13ポンド台	14~15.8ポンド	<平均値> 14.88ポンド
糖度	13度台	13.6~15.5度	<平均値> 14.6度

測定条件: 陽陰光面2ヶ所で5果(色のいいものふつう果うすいものつる割等の平均値)を測定

【栽培地状況】

●青森県弘前市の北部に位置する平坦な産地です。●露地園で220a栽培しています。●リンゴの他にモモを20a栽培しています。

【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌灌水	1回目	4月25日	1000倍	400ℓ
葉面散布	1回目	5月 1日	1000倍	300ℓ
	2回目	7月 5日		400ℓ
	3回目	8月 5日		
	4回目	9月10日		
収穫時期		11月10日 ~ 11月20日		

【生産者の声】

- 昨年一部の畑に大和農業酵素の使用を試みたところ、今までに無い結果が出たので、今年はモモも含めて全面に散布をしました。
- 一部の試験区の結果で取引業者から最高の評価をいただきました。
- 樹勢が旺盛になり過ぎる傾向があるため、新梢との関係等、散布時期に気を配り、タイミングを研究していきたいです。
- 「今年のリンゴの味は最高」と、新旧のお客様を問わずにリピートが多い事に驚いています。
- より一層の相乗効果を図る為、来期はイオン化カルシウムの併用を数多く行っていきたいです。

No. 87 リンゴ(サンふじ) 青森県北津軽郡在住 T様

大和農業酵素を散布した園は硬度があり、日持ちがよく、糖度が高くなりました。農薬使用量の削減につながりました。

【散布結果の特長】

- 葉が厚く、葉色が濃く、小さめの葉が多くつくようになった。●葉が硬くなる事で病害虫にも強くなり、農薬が20%削減した。
- 樹勢が強くなるために、新梢が太くなり、土壌病害にも徐々に打ち勝つようになりました。

【栽培地状況】

●青森県弘前市の北部に位置し、平坦で中山間地に園があります。●栽培面積は180aで、最高樹齢70年の木もあります。

【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
土壌灌水		4 / 13	1000倍	300ℓ
葉面散布	1回目	5 / 6		
	2回目	7 / 1		500倍
	3回目	8 / 27		
収穫時期		11 / 10 ~ 12 / 15		

【生産者の声】

- 初年度は、試験区に大和農業酵素の500倍液を1回だけの散布でしたが、硬度上昇(日持ち)が良くなりました。今年度も、大和農業酵素の1000倍液の散布回数を増やし、さらなる農薬の削減を目指します。
- 昨年は好結果でしたので、今年は発酵肥料との併用で大和農業酵素の相乗効果を更に高め、品質向上を目指します。
- 大和農業酵素を使用する事で、「こくがあり日持ちが良いため、長期保存してもおいしい！」と喜ばれ、リピーターが増えました。

No.88 さくらんぼ(佐藤錦) 山形県天童市在住 S様

「大和農業酵素」1000倍希釈で土壌散布1回、葉面散布3回で糖度は22.5度、果実が大きく収量が約5~10%増加。

【散布結果の特長】

- 果実の色がとても良く完熟していて、色のばらつきの無い状態での収穫ができた。●果実の大きさが他のものと比べ一回り大きい。



- 一般的な糖度は15～18度であるのに対して、「大和農業酵素」さくらんぼは22.5度の糖度となった。
- 今年は「間引き」できないほど不作だったが、「大和農業酵素さくらんぼ」は間引きをしなければならぬほど実をつけました。

### 【栽培地状況】

- 昨年より「大和農業酵素」を使用。●ハウス栽培です。●散布面積は20アール。
- 「りんご」「ラフランス」にも大和農業酵素を利用。



### 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌散布	5/6	1000倍	1000ℓ
葉面散布 1回目	6/6	1000倍	1000ℓ
葉面散布 2回目	6/13	1000倍	1000ℓ
葉面散布 3回目	6/18	1000倍	1000ℓ
収穫時期	6/15 ~ 7/4		

### 【生産者の声】

- 今年は全般的に他の栽培地の作柄が悪い傾向にある中で、収量5～10%増加に非常に満足している。
- 共同出荷で品質による差別化ができないのが残念で、品質による差別化が出来るように、契約消費者との直接取引を現在拡張中。
- 来年も「大和農業酵素」の使用を続行します。

### 【大和肥料からの落葉果樹へのアドバイス】

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。十分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきましょう。
- ヒューマスエネルギーやミネラルエネルギー、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。特に落葉果樹は「おひさま凝縮粉末」の収穫2～3カ月前の施用をお勧めいたしております。「大和農業酵素」と相まっておいしい果実が収穫できています。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。

### No.89 お茶(やぶきた) 神奈川県南足柄市在住 K様

1000倍希釈で2回土壌散布、500倍希釈で2回葉面散布した事により、前年対比120%の増収益であった。

### 【散布結果の特長】

- 葉が大きく色が良く柔らかい。茎が太くて柔らかい。●樹勢が良く早摘みができた為、収量当りの単価が高く、前年対比120%の収益。
- くき茶が例年の5割程しかなかった。●あら茶からの製品歩留り率は、例年75～80%ほどであるが、今年は85～90%であった。

### 【栽培地状況】

- 120アールの栽培地を所有している。●家庭菜園の規模で、ぶどう、野菜を栽培している

### 【散布状況】

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当り)
土壌散布 1回目	7月下旬	1000倍	200ℓ
土壌散布 2回目	8月上旬	1000倍	200ℓ
葉面散布 1回目	7月下旬	500倍	30ℓ
葉面散布 2回目	8月上旬	500倍	30ℓ

**【生産者の声】**

- 栽培の状況が非常に良好なので、今後も年間を通じてお茶の栽培に「大和農業酵素」を使用していきたい。
- “比較対照区を設けてもらいたい”との声がありましたが、「大和農業酵素」の効果を使用前から確認できていたので全栽培地に使用。

**No. 90 お茶(てん葉)** 愛知県幡豆郡吉良町在住 S様

1000倍希釈で3回土壌散布、500倍希釈で1回葉面散布した事により、立ち枯れ状態の茶樹が正常に復活し、収量は前年対比110%の収量となった。

**【散布結果の特長】**

- 葉の質が以前より向上した。●葉の厚みは良好です。●茶樹自体が持つ生命力が強くなったように感じます。

**【栽培地状況】**

- 木の状態が以前から振るわず、ところどころ立ち枯れ状態となり、植替えを余儀なくされていた茶畑です。
- 1回目の土壌散布の後、冬場の寒さで「大和農業酵素」の効果の減少を防ぐ為、畝に“かんりき”をかけました。

**【散布状況】**

月 日	項 目	希釈濃度	状 況
2/12	1回目土壌散布	1000倍	ところどころ立ち枯れ状態
3/2	2回目土壌散布	1000倍	新芽が出始める
4/2	3回目土壌散布	1000倍	最下部からも新芽が出始める
4/24	1回目葉面散布	500倍	
5/6			刈り込み
6/12			2度目の新芽が出る
7/11			ほぼ復活状態となる
7/24			完全復活状態となる

**【生産者の声】**

- 栽培の状況が非常に良好なので、来期は全ての畑に「大和農業酵素」を使用していきます。
- お茶の樹を全て取り除き新たな木を植えるには、約1000万円の費用と収穫できるまでに5年の歳月を必要としたが、大和農業酵素での結果が良好なので植え替えの必要が無くなり経費の節減となりました。
- 今回の結果を観察していた多くの農業推進員は、「前例の無い結果」と驚いている。

**No. 91 お茶(藪北)** 静岡県島田市在住 I様

地域でファースト1と言われていた茶畑が、大和農業酵素を散布することで、見違える程良い茶木になり、早期収穫と仕上げ歩留りが高い為、収益も増えて本当に嬉しいです。

**【散布結果の特長】**

- 組織が柔らかいので、茶葉になる部分が多く、くき茶になる部分が少ない為、仕上げ歩留りが高かった
- 早期の収穫ができた為に、取引単価が工場の平均より約200円高くなり収益が増えました
- 地面が柔らかくなったようで耕しやすくなりました。●芽が柔らかく、瑞々しく艶があり、しなやかで、葉肉が厚い茶葉ができました

**【栽培地状況】** ●30アール

**【散布状況】**

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌散布 1回目	14年8月10日	1000倍	200ℓ(1箇所のみ)
土壌散布 2回目	15年4月1日	1000倍	700 ℓ
葉面散布 1回目	4月17日	500倍	200 ℓ
葉面散布 2回目	4月27日	500倍	200 ℓ

収穫時期	5月3日 ~ 5月7日
------	-------------

**【生産者の声】**

- 昨年までは、地区でも茶木の状態が一番悪く収穫も一番遅かったのが、今年は地区でも見違えるように良い状態の茶木になった。その結果、早く収穫でき、単価も良かったので大変有難い。●大和農業酵素を散布する前は、工場の集荷が始まって私の茶葉の収穫が4、5日しないと始められなかったが、散布するようになってからは、3日目くらいからは収穫することができた。
- 工場では毎日の移動できるキロ数があり、先着順で茶葉の処理に当たるが、私の畑の収穫が早かったため、工場が始まってから半ばには全量が終わりましたが、他の畑はそれから10日位してから終わったそうです。

**No. 92 お茶（藪北）** 静岡県島田市在住 I様

**大和農業酵素を散布することにより、減農薬畑の収穫量が前年対比110% 一部の無農薬栽培畑は、前年対比約213%の収穫増となり、とても嬉しいです。**

**【散布結果の特長】**

- 寒さに強く茶葉の色が良く、芽が柔らかい。●樹勢が良く、葉層も厚く、芽のびが良かった。●農薬散布量が少なくなりました。
- お茶も甘みがあり、まろやかな味になりました。

**【栽培地状況】** ●茶畑 160アール。●家庭で食べる野菜。●出荷用の椎茸栽培もしている。

**【散布状況】**

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌散布1回目	14年 7月 2日	1000倍	10~20ℓ
土壌散布2回目	14年 8月10日	1000倍	10~20ℓ
土壌散布3回目	14年 9月 4日	1000倍	10~20ℓ
土壌散布4回目	14年10月21日	1000倍	10~20ℓ
葉面散布 1回目	15年 4月12日	500 倍	10 ℓ
葉面散布 2回目	15年 4月25日	500 倍	10 ℓ
収穫時期	(減農薬)5月3日~5日(無農薬)5月10日~12日		

**【生産者の声】**

- 今まで農薬を減らしてお茶を栽培する努力をしてきましたが、農薬を減らすことができ大変嬉しく思っています。
- 年間を通して160a分の農薬を購入しているが、決算期の返金が去年は3万円だったのに対し、今年は17万円の返金がありました。
- これからも大和農業酵素を自信持って使っていきます。また、知り合いにも勧めていきたいと思っています。

**No. 93 お茶（藪北）** 静岡県榛原郡在住 M様

**園相は例年に無く良くなり、芽揃いが均一となり高品質な新茶が期待できます。樹勢が良くなったことにより病害虫の発生が少なく、減農薬栽培に繋がるものと思われます。**

**【散布結果の特長】**

- 霜柱が立たなくなり、厳寒期の根の成長に負担がかからなくなった。●有機質肥料の分解が早くなり臭気が軽減された。
- 樹勢が良くなったことにより、病害虫の発生が少なく減農薬栽培になると期待しています。

**【栽培地状況】**

- 自園地400a 全園に大和農業酵素使用中。●本格的に全園への取り組みは下記散布状況の通りですが、特に成育の劣る茶園60aには8月下旬と9月中旬の2回 土壌灌水を行い樹勢の回復がはっきり見られたので全園散布に踏み切りました。

**【散布状況】**

	散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壌散布1回目	15年10月中旬	1000倍	2000ℓ

土壌散布2回目	15年11月下旬	1000倍	2000ℓ
土壌散布3回目	15年12月中旬	1000倍	2000ℓ
葉面散布1回目	15年12月下旬	500倍	400ℓ
土壌散布4回目	16年 2月中旬	1000倍	2000ℓ
有機質肥料と同時施用	16年 3月中旬	大和農業酵素原液	10袋に2ℓ混用
土壌散布5回目	16年 3月中旬	1000倍	2000ℓ
葉面散布 2回目	16年 4月上旬	500倍	400ℓ
収穫時期	4月25日～5月15日		

### 【生産者の声】

- 土壌の物理性を改善し、植物を健全に育てる為に有機主体の施肥体系にし、大和農業酵素を使用することにより、肥効を高め環境に優しい農業を続けられる様頑張りたいと思います。
- 来シーズンは生葉出荷者に呼びかけて、幅広く使用して喜ばれるように検討していきます。
- おいしいお茶作りの基本は、健全に育てられた茶芽から生まれる。豊かな環境に生まれ大和農業酵素たっぷりの安心安全な新茶を皆様のお茶の間にお届けします。

### No.94 茶（藪北） 静岡県榛原郡在住 K様

大和農業酵素を散布したことにより、茶樹の生命力が高まった為に減農薬栽培ができ、常にキロ当たり500円以上高く取引され、増収益となりました。

### 【一茶前の散布結果の特長】

- 昨年の秋冬番から一番摘採まで、殺虫剤を1回散布したのみで殺菌剤の散布は必要なく、安心して飲めるお茶が製造できました。
- 製造では、葉に蒸気が良く通り、無散布の葉とは格段の違いを感じました。粗糲工程でも、葉肉が厚かったのも、良く練れ緑の水色と香気味も有り良い製品になりました。
- 価格は、散布した製品と無散布との違いがはっきりし、常にキロ当たり500円以上高くなり、価格でも良い結果が得られた。
- 製品の分析では、アミノ酸テアニンカテキンの数値が上がった。

### 【散布状況（一茶前）】

		散布時期	希釈濃度	散布量(10a 当たり)	備考
葉面散布	1回目	12月中旬	500倍	400ℓ	液肥と混合
	2回目	2月上旬			液肥と混合
	3回目	3月下旬			液肥と殺虫剤と大和農業酵素の混合
	4回目	4月上旬			液肥と混合
収穫時期		4月24日～5月12日			

### 【二茶前の散布結果の特長】

- 二茶摘採まで茶園に病気が出ないので殺菌剤の使用はやめました。大和農業酵素の散布は“減農薬になる”と確信しました。
- 製造では、二茶も蒸気の通りが良く楽に製造できました。製品の色も良く価格に反映されました。

### 【散布状況（二茶前）】

		散布時期	希釈濃度	散布量(10a 当たり)	備考
葉面散布	1回目	5月中旬	500倍	400ℓ	殺虫剤と大和農業酵素の混合
	2回目	5月下旬			
収穫時期		6月10日～6月24日			

### 【栽培地状況】

- 牧之原大茶園の北部に位置し、茶栽培に適した三倉層の土壌と大井川からの朝霧に煙る山間地で自園地100aを栽培。
- 茶園芸(草花苗)3,000㎡の複合農業をしている。園芸でも「大和農業酵素」葉面散布で良い結果を出しています。

### 【生産者の声】

- 「大和農業酵素」と殺虫剤との混用は避けるように言われていましたが、私の判断で混用しました。
- 有機液肥と「大和農業酵素」の相乗効果は大変良く、寒さに強い茶園で病害虫の発生が少なく減農薬栽培になると確信した。
- 散布時期や土壌散布の有無を再検討して「大和農業酵素栽培」を確立させていきたいと思っています。

大和農業酵素を使用したことにより、土壤環境が更に改善されたため、害虫の被害が比較的少なく、使用しなかった茶園よりも収穫が多く、品質が向上しました。

【散布結果の特長】

- 製品の色が例年より良い。●圃相が悪かった茶園が回復した。●製品の香りが良かった。●土が柔らかくなりました。

【栽培地状況】

- 栽培面積は210aで、その内の70aに大和農業酵素を使用しています。●一番茶以降より大和農業酵素を使用しています。
- 全圃場面積の90%を完全無農薬無化学肥料で栽培し、その内の80a有機認証を取得しています。

【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
土壤灌水	1回目	4月24日	1000倍	550ℓ
	2回目	5月27日	1000倍	550ℓ
葉面散布		6月 2日	1000倍	200ℓ
収穫時期		4月下旬 ~ 6月下旬		

【生産者の声】

- 葉面散布よりも土壤灌水の方が効果がありました。
- 畑の管理は土を踏み固める乗用型を使わず可搬式で行い、大和農業酵素と有機肥料との相乗効果で土がフカフカ。
- 大和農業酵素で二番茶の生育が良好になれば、経済的にも安定するので期待しています。
- これからも効果的な使用法を探りつつ、継続使用をしていきます。

残留農薬の検査をしたところ104項目の全てにおいて残留農薬“0”の結果を出すことができました。

【散布結果の特長】

- 有機堆肥を大和農業酵素と併用したこと大変地力がつきました。●収穫時期が4~5日早くなりました。
- 7~8月に2~3回の農薬散布はしましたが、それ以外には使わなかったため農薬使用量を大幅に減らすことができました。
- 葉の厚みがかなり増しました。●一年を通し香りも良くなって、飲んだ後のスッキリとした味を出せるようになりました。

【栽培地状況】

- 2002年から1.5ヘクタールの全ての茶畑に大和農業酵素を使用しています。

【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a当たり)
土壤灌水		2月	1000倍	200ℓ
		7月		
		11月		
葉面散布		4月7日	500倍	150ℓ
		4月21日		
		6月7日		
		8月10日		
		9月3日		
収穫時期		5月5日 ~ 7日		

【生産者の声】

- 安心安全なお茶作りをめざしていたのでこの残留農薬ゼロの結果が大変うれしいです。
- 皆様に安心して飲んでいただける美味しいお茶作りのために、これからも大和農業酵素を長く使用していきたいと思ひます。

無農薬無化学肥料で栽培してきました。大和農業酵素の使用で茶樹が丈夫になったことにより病気の被害が広がらず、品質も大幅に向上しました。

【散布結果の特長】

- 病害虫にかかりにくくなりました。●刈り取り時の葉の状態が良くなり、葉色が青々しく、製茶にしても色が出やすくなりました。
- 味に深みが増しました。

【栽培地状況】

- 静岡県牧の原台地の茶畑の密集地で栽培し、80aの全ての茶畑で使用しています。●お茶の他に水稻も栽培しています。

【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
葉面散布	1回目	3月中旬	500倍	250ℓ
	2回目	4月中旬		
	3回目	5月中旬		
	4回目	5月下旬		
	5回目	6月初旬		
	6回目	7月 2日		
	7回目	8月 2日		
収穫時期		4月27日 ~ 5月5日		

【生産者の声】

- 今年は茶葉の収量が全国的に低く、葉が小さいうちに収穫しなければならなかったため、収量は前年度と比較できません。
- 農薬散布をしている近隣の茶畑でも7月は害虫の発生がひどかった中、当畑でも発生はしたが、非常に目立つ状況ではなかったのは、大和農業酵素の効果だと思われます。
- 今まで使用していた活性剤を大和農業酵素に換えたところ、効果が上がり経費は削減できました。

前年に比べ収穫量が約 10%増収になり、農薬の散布回数が減りました。新芽の葉肉が厚くなり色つやも良く、まろやかで美味しい。

【散布結果の特長】

- 収穫量が前年に比べ約 10%増収しました。●農協で指導している年間標準農薬散布回数は 12 回ですが、大和農業酵素を使用することにより 8 回まで減らすことができました。また、農薬の散布回数を減らしても病気等の発症が少なくなりました。
- 新芽の葉肉が厚くなり、色つやが以前と比べて良くなり、味がまろやかになりました。
- 有機発酵肥料を施肥することにより、土が柔らかくなり、ミミズが増えました。

【栽培地状況】

- 10 年前より有機発酵肥料を使用しています。●全栽培面積 1.7ヘクタールの内、粉末緑茶用の 15 アールに大和農業酵素を使用しています。

【使用状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
葉面散布	1回目	3/6	1500倍	200ℓ
	2回目	3/28		
	3回目	4/10		
収穫時期		5/2 ~ 5/20		

【生産者の声】

- 茶葉を挽いて作る粉末緑茶は茶葉全部を飲むことになるので、引き続き大和農業酵素を使用して、更なる農薬使用量の減少を目標にし、安心安全なお茶作りを目指していきます。
- 現在は、粉末緑茶用のみに大和農業酵素を使用していますが、今後は深むし茶用にも使用していきたいと思っています。

樹勢が良くなった為、天候不良による影響がなくなり、病害虫にも強くなりました。例年より収量が約2割上がり、二番茶も同じ収量がありました。

【使用結果の特長】

- 樹勢が良くなり、新芽の成長スピードが他園よりも1週間程早かったです。
- 12～2月頃は寒くて雨量が少なかったため、3～4月頃になると近くの茶畑は赤く枯れていたが、当茶畑は葉が青々している。
- 病害虫に強くなり、虫がつきにくくなりました。

【栽培地状況】

- 茶園は、風抜けと水はけの良い場所にあり、露地栽培です。●農薬を極力控えて、減農薬栽培をしています。
- 有機質堆肥中心で、徹底した栽培管理をしています。●大和農業酵素は、約2ヘクタール全面に散布しました。

【使用状況】

10アール当たり	散布日	希釈濃度	散布量
葉面散布	11月中旬	1000倍	175ℓ
	3月中旬		
収穫時期	一番茶	5/4 ~ 5/22	
	二番茶	6月下旬 ~ 7月上旬	

【生産者の声】

- 「今年は地面がフワフワして、とてもやわらかい」と、お茶つみをした方に言ってもらえました。
- 例年に比べ今年は味に深みを感じました。大和農業酵素を使い続けて、「個性豊かで、甘みと深みのあるお茶」を作りたい。
- 大和農業酵素の使用前に、賞を受賞しましたが、大和農業酵素を使い続けることで、さらなる味の向上が期待できます。  
(埼玉県知事賞、所沢市荒茶品評会入賞)
- 県による放射性物質の検査をした所、セシウムが0.8ベクレルで1以下だった為、「検出されませんでした。」の結果をいただきました。  
又、10ヶ所検査して全て「問題なし」でした。

【大和肥料からのお茶栽培へのアドバイス】

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。十分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきましょう。
- ヒューマスエナジィやミネラルエナジィ、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。
- お茶栽培は春先にうまみ成分であるテアニンをタンニンに変えない工夫が必要となります。

春先に裸地化しているグリーンに葉面散布8回したところ芝生の密度が明らかに回復しているのがみられた。

【散布結果の特長】

- 土壌環境が劣悪な状態で、短期間で芝生密度が回復しました。

【栽培地状況】

- 南国特有の直射日光が強いゴルフコース ●ゴルフコースの10番11番コースの芝に散布
- 10番ホール30㎡(8M×48M)と11番ホール22㎡(7M×4M)の合計52㎡

### 【散布状況】

		散布日	希釈濃度	散布量(10a 当たり)
葉面散布	1回目	15年3月19日	1000倍	100リットル
	2回目	3月25日		
	3回目	4月9日		
	4回目	4月16日		
	5回目	5月1日		
	6回目	5月8日		
	7回目	5月14日		
	8回目	5月28日		

### 【生産者の声】

- 直射日光の強さや台風の通過本数が多い等、自然環境が本土と比較にならないくらいに条件が悪く、土壌などから手を加えたらもっと効果が出ると思われます。
- 土壌灌水や芝の苗床等の全てに大和農業酵素の使用を検討しています。

### 【大和肥料からの芝栽培へのアドバイス】

- 今回の増収は「大和農業酵素」を散布する事により肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まった結果と考えられます。その為、土壌中の栄養分の不足が考えられ、次年度の土壌への施肥に注意を払う必要があります。十分な施肥と「大和農業酵素」の土壌施用により、次年度の成果と繋がります。その上で葉面散布をしていきましょう。
- ヒューマスエナジィやミネラルエナジィ、微量ミネラルなどの施用が土づくりに役立ちます。
- 「大和農業酵素」の使用で、土壌の微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられます。

### No.101 椎茸(種菌290) 静岡県島田市在住 I様

3年目の原木に5回散布したところ、肉厚で歯ごたえがあり非常に美味しく、日持ちも良く、千切りにして天日干しにした際も、切り口が真っ白な椎茸ができました。

### 【散布結果の特長】

- 肉厚。●歯ざわりが良くしっかりとしている。●水分が少なく日持ちが良い。

### 【栽培地状況】

- 3年目の原木。●静岡県島田市の霧のかかる山間の頂上の茶畑の隣の雑木林の中で栽培している
- お茶の栽培を主に手掛ける傍ら、椎茸の栽培をしている。

### 【散布状況】

	散布日	大和農業酵素 希釈濃度	散布量 (100本に対して)
原木散布 1回目	16年 2月 末日	1000倍	100ℓ
原木散布 2回目	16年 3月20日	1000倍	100ℓ
原木散布 3回目	16年 5月20日	1000倍	100ℓ
原木散布 4回目	16年10月20日	1000倍	100ℓ
原木散布 5回目	16年11月20日	1000倍	100ℓ
収穫時期	春 と 秋		

### 【生産者の声】

- お茶に散布した残りの大和農業酵素を使用して、このように素晴らしい椎茸ができて、とてもびっくりしています。
- 知り合いに差し上げましたら、とても美味しいと喜ばれて、注文もたくさんいただきました。
- 沢山採れた時に、2日程天日干し、その後、冷凍した椎茸が、4ヶ月目の今でも形も色も変わらず、取り立ての風味があります。